

広報だいせん

だいせん日和

巻頭

現代の名工に小松忠二さん（花火製造工）

フオトスケッチ

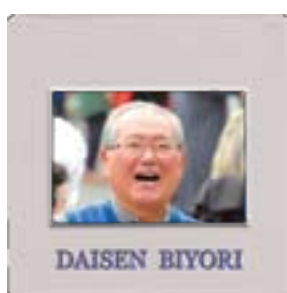
錦秋の旧池田氏庭園



特集

新たなる100年の始まり

百歳百彩



- 002 | **現代の名工に選出**
小松忠二さん (内小友宮林)
- 003 | **子どもエコチャレンジ**
環境家族宣言
- 004 | **市の動き**
大曲都市計画案を策定
売却可能市有財産を宅建協会
通じ公売
就職支援プラス講座
- 006 | **市役所からのお知らせ**
市営住宅入居者募集/「しあわせ
公園」利用開始/ふるさとCM
大賞今年も参加/ペアーレ大仙
キッチンスタジオ開設記念料理
教室/人権・行政無料相談会ほか
- 008 | **特集/百歳百彩**
新たななる 100年の始まり
010 検証 PLAYBACK
012 哲学 PHILOSOPHY
014 地元花火師 PERFORMER
016 支える専門職 PROFESSIONAL
018 情熱 PASSION
020 参画 PARTICIPATION
022 交流 PROSPERITY
024 未来の力 POWER OF FUTURE
026 平和と誇り PEACE & PRIDE
- 028 | **23年度幼稚園・保育所**
期間内、忘れずに申し込みください
- 034 | **健康の達人**
仙北組合総合病院麻酔科・緩和ケアチーム
秋山博実 科長「緩和ケアについて」
- 035 | **健康通信**
- 036 | **図書館情報・12月の市長日程**
- 037 | **いきいき広場**
成年後見制度
介護保険事務所から
- 040 | **フォトスケッチ**
錦秋の旧池田氏庭園
- 042 | **レシピ・プレゼント**
カレー風味カボチャまん
大曲の花火カレンダー 2011

A Hot Stock

現代の名工に選出



花火製造工 **小松忠二**さん
(内小友宮林)

厚生労働省が表彰する「卓越した技能者」として(株)小松煙火工業の小松忠二さんが選ばれた。今年度は全国で150人が選出され、市内では3人目の名工。小松さんに喜びの声を聞いた。

「高度なものほど、基礎がしっかりしていなければなりません」

も のづくりなどに秀でた技能、業績を持つ人をたたえる表彰。日本の花火業界を長年、引っ張ってきた小松忠二さん(79歳)は、「現代の名工」受賞の一報に「思いがけないことで驚きましたが、大変光栄に思います」と戸惑いながらも素直に喜ぶ。

明治18(1885)年創業の小松煙火工業の4代目、平成14年に会社を長男の忠信さんに引き継ぎ、現在は会長を務める。昭和、平成と国内外の夜空を彩ってきた。その間、日本煙火芸術協会副会長、大曲の花火協同組合理事長などを歴任したほか、小松煙火工業を

日本を代表する花火業者に育て上げた。

一大転機は昭和34年、小松さん28歳のとき。茨城県の花火業者に3年間弟子入り、稲刈りが終わると冬期間は茨城県に出向いた。

そのころ大曲の花火(全国花火競技大会)に、3つの色の層を描く八重芯やえしんという花火が登場。県外業者は、これを打ち上げ入賞したが、県内業者は遅れをとり、入賞できなかった。

花火の製造法は秘伝の部分が多かったが、門をたたいた。「地元花火師としてのプライドがそうさせたんでしよう」。そこで一から花火の製造工

程を学び、八重芯の作り方を習得。その中の一つに十八番の「八重芯残光」がある。3層の大輪が描かれた後、中心にパラシュートでつられた光が鮮やかに輝く、非常に手の込んだ作品。ところが地元に戻って同じように作ってもうまく開かない。



星の仕込み作業を行う小松さん

れない」と懐かしむ。

今では、より高度な五重芯という花火に挑戦する小松煙火工業。小松さんの苦労や貴重な経験がヒントになっている。「効率ばかりを求めるとでなく、手間ひまかけることの大切さを教えられました」と社長の忠信さんは話す。

「高度なものほど、基本がしっかりしていなければなりません」。温和な表情を崩さない小松さん。目の奥に、名工としての一端がきらりと光った。

子どもエコチャレンジ 環境家族宣言



温暖化防止は 家庭から

家庭でできるエコ活動に取り組む「子どもエコチャレンジ」と「環境家族宣言」。
たくさんの方々の参加で、昨年度より2,124kgも多くの二酸化炭素(CO₂)を削減できました。
地球温暖化を防ぐには、私たち一人ひとりが問題意識を持ち、行動することが大切です。
できることは身近にたくさんあります。
まずは、第一歩を踏みだしましょう。

【問い合わせ】環境課 ☎ 0187-63-1111 内線 277

「子どもエコチャレンジ」は「身近な暮らし」と「環境」との関わりを学び、環境を守るために自ら考える力をはぐくむ、子ども向けの環境家計簿です。子どもとそのサポートを行う家族が一緒に参加することで、環境に優しいライフスタイルを学ぶことができます。まずは「ごみ」「水」「エネルギー」の3つのテーマから実施するチャレンジを選択。次に普段の生活を1週間かけて点検した後、次の1週間ですべてだけ省エネできたかを調べます。対象は市内の全26小学校の4年生児童で、夏休み中に実施しました。

子どもエコチャレンジ



取り組み3

エネルギー

液晶テレビ 32 Vワイド型(約150?)で約3,800時間分の電気を節約

15校・229人の取り組みで、電気の使用量を570kWh減らしました。

■二酸化炭素削減量/約222kg

取り組み2

水

1杯300ℓのバスタブで約444杯の水を節約

14校・264人の取り組みで、水の使用量を133,077ℓ減らしました。

■二酸化炭素削減量/約48kg

取り組み1

ごみ

燃やせるごみ袋(大1袋4.5kg換算)で約100袋分のごみを削減

15校・250人の取り組みで燃やせるごみを約448kg減らしました。

■二酸化炭素削減量/152kg

※学校によっては複数の取り組みを行っています。

家庭で無理なくエコ活動
大仙市環境家族宣言

環境家族宣言は、環境への負荷を減らすための仕組みである、国際的な環境マネジメントシステム「ISO14001(環境ISO)」の仕組みを応用したものです。環境に対する取り組みの中でも「ごみ」や「省エネ」など身近なことを対象にしており、各家庭で無理なく取り組むことができます。

対象は、市内在住または通勤している一般世帯の方々と市内の中学生世帯で、一般の方は8月の1カ月間、中学生世帯は夏休み期間中の1週間実施しました。

取組結果

【一般世帯】	参加世帯/156世帯
参加人数/557人	二酸化炭素削減量/1802kg
【中学生世帯】	参加世帯/1568世帯
参加人数/6150人	二酸化炭素削減量/5830kg

6707人が参加
CO₂を7632kg削減



子どもエコチャレンジと
環境家族宣言で
合計8054kgの
二酸化炭素を削減できました

市街地再開発事業

大曲都市計画案を策定

都市計画案の縦覧を実施



市街地再開発事業と高度利用地区計画案の施行予定区域である旧ジョイフルシティ大曲周辺

地域

域医療の中核である仙北組合総合病院の移転新築を核とする市街地再開発事業。誰もが安全安心に生活できる医療・福祉機能の強化や鉄道・バスの交通結節点機能の継続、中心市街地・生活街としての利便性向上などを目的に事業を進めています。

12月下旬の都市計画決定に向け、改めて市民のみなさんから意見をいただくため、市では11月5日・6日に大曲交流センターで大曲都市計画案住民説明会を開催。施行予定区域である旧ジョイフルシティ大曲周辺で建設が予定される施設の規模や配置案などの再開発事業の概要、都市計画決定までの手続きなどを説明しました。

都市計画案の策定に伴い市では、市街地再開発事業と高度利用地区の決定に関する都市計画案の縦覧を行っています。また、縦覧にあたり都市計画法で「市民および利害関係人は縦覧期間中に意見書を提出することができ」とされています。

意見をお聞かせください

市街地再開発事業等の都市計画案の縦覧

◆縦覧期間／12月7日(火)まで

◆内容／

【市街地再開発事業】市街地再開発事業の種類・名称・施行区域、施行区域の面積、公共施設の配置・規模に関する計画、建築物・建築敷地の整備に関する計画

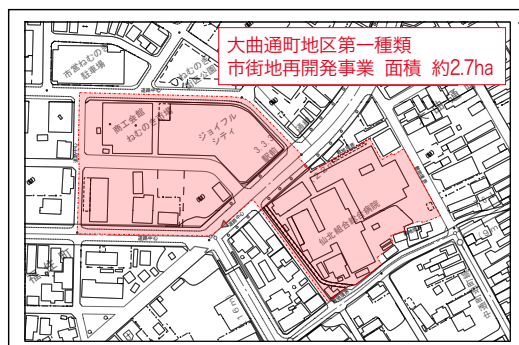
【高度利用地区】地域地区の種類・位置・区域、容積率の最高限度・最低限度、建ぺい率の最高限度、建築面積の最低限度、建築物の壁面の位置の制限

◆都市計画案の縦覧・意見提出先／

市役所大曲南庁舎2階 都市計画課(大曲日の出町2丁目8-4)

◆提出方法／直接窓口または郵送※12月7日(火)必着

※窓口での取り扱い時間は、午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日を除く)



市街地再開発事業の施工予定区域図。このほか都市計画案に関する資料は、どなたでも自由に見ることができます。

【問い合わせ先】

都市計画課 計画班
0187(66)4908

子どもから高齢者まで、あらゆる世代の方々が安全安心に暮らせる中心市街地・生活街の形成。市民のみならず市が一緒になって実現するため、みなさんの貴重な意見をお聞かせください。

「高度利用地区」とは

建築物の統合を促進するとともに小規模建築物の建築を抑えることで、市街地に十分な広さの土地を確保。そこに広場や道路などを整備することで、都市環境を向上させることを目的とした地区です。法律により、市街地再開発事業の施行区域は高度利用地区内とされています。

An Arrangement

紹介業務に関する協定締結式

売却可能な市有財産を宅建協会を通じ売却
収入確保・経費削減を図る

今後は、主に公売で売却できなかった物件を協会に依頼。協会を通じて会員業者に物件情報を提供し、売買契約が成立した場合、市が紹介業者に対し売却額の1・05%から5・25%の紹介業務手数料を支払います。

不動産業者のネットワークを活用した市有財産の処分。不動産の専門知識や情報量が豊富な県宅地建物取引業協会と協議を進め「紹介業務に関する協定」を締結しました。

市有財産の売却による収入確保と財産管理経費の削減を図るため、市のホームページなどで公売を実施。しかし、思うように売却できず管理経費の掛かり増しが生じています。その改善策として浮上したのが、

市では、今年3月末現在で宅地、雑種地など40カ所、面積にして約13・2畝(資産価値6億365万円)を所有。さらに市土地開発公社から宅地や山林など約10・9畝(不動産鑑定評価額2億9210万円)を取得しました。



同協会の佐藤正雄大仙支部長と協定書を
を交わし握手する栗林次美市長

11月9日に行われた締結式で「協会からアイデアや意見・指導などを含め、期待する」と話した栗林次美市長。

現在使用していない財産を積極的に売却して自主財源を確保するとともに、財産管理経費のより一層の削減に努め、市の財政基盤のさらなる強化・安定を図ります。

Employment Support

新規高卒者等就職支援事業

就職までの育成支援と経済的負担の軽減
就職支援プラス講座

同講座の目的は2つ。1つは「就職活動のための育成支援」。一般教養、コミュニケーション、企業講話、ものづくり実習、地域社会の5コースに行われました。

高 校や専門学校、短大、大学を今年3月に卒業、または既卒者で未就職の市民13人が受講した「就職支援プラス講座」。10月29日から11月30日までの間、全7日間の日程で行われました。



コースの1つ「企業講話」。企業の仕事内容や企業が求める人材の理解を図りました。受講者はメモを取るなど真剣な表情で受講していました。

同講座の目的は2つ。1つは「就職活動のための育成支援」。一般教養、コミュニケーション、企業講話、ものづくり実習、地域社会の5コースに行われました。

高 校や専門学校、短大、大学を今年3月に卒業、または既卒者で未就職の市民13人が受講した「就職支援プラス講座」。10月29日から11月30日までの間、全7日間の日程で行われました。

「講座をきつかけに、社会のために自分ができるのかを考えるようになった」と話してくれた受講生。その熱いまなざしといきいきとした表情からは、これからの就職活動への強い意気込みが感じられました。

わたりカリキュラムを作成、全28コマを受講しました。内容は、働く意義の再確認や自分の適性の把握、ビジネスマナーの修得、異文化理解を通じたコミュニケーション能力の向上など。これらをおして就職活動の意識改善や就労に必要な基礎知識、事務的技術の修得などの育成支援を行いました。

もう1つは「就職までの経済的負担の軽減」。受講者に対して受講日1日当たり3000円の手当を支給し、就職に向けて努力する受講者の経済的支援を行いました。



市営住宅入居者募集

◆募集住宅

【大曲地域】

福見町市営住宅・1戸

(2LDK・S57建設)

家賃 1万6400円

3万2300円/月

船場町市営住宅・2戸

(2LDK・H2建設)

家賃 1万8600円

3万7100円/月

船場町市営住宅(母子向け)・2戸(2LDK・H1建設)

※入居は母子世帯の方のみ

家賃 1万8400円

3万6100円/月

【協和地域】

合員市営住宅・1戸

(3LDK・H14建設)

家賃 2万5700円

5万5000円/月

境市営住宅・1戸

(3DK・S59建設)

家賃 1万6700円

3万2900円/月

※家賃は住宅の設備や入居者の収入によって異なります。

◆入居資格

- 同居する親族がいる方(高齢者や障がいのある方は単身でも入居できる場合があります)
- 住宅に困っている方
- 収入が条例で定められている収入基準以下の方
- 市町村税に滞納がない方
- 同居者を含め全員が暴力団員(暴力団対策法第2条第6号に規定する暴力団員)でないこと

※入居に際し、市内に居住している連帯保証人が1人必要

◆申込受付期間/12月2日(木)から16日(木)まで

(土・日曜日、祝日を除く)

◆受付時間/午前9時～午後5時

◆入居可能日/1月21日(金)

【問い合わせ・申し込み】

【大曲地域】

建築住宅課
☎0187(66)4909

【協和地域】

協和総合支所建設課
☎018(892)3708

- 大曲庁舎(本庁)
☎0187-63-1111
- 大曲南庁舎
☎0187-66-4905
- 土地区画整理事務所
☎0187-63-0542
- 神岡庁舎
☎0187-72-2111
- 西仙北庁舎
☎0187-75-1111
- 中仙庁舎
☎0187-56-2111
- 協和庁舎
☎018-892-2111
- 南外庁舎
☎0187-74-2111
- 仙北庁舎
☎0187-63-3003
- 太田庁舎
☎0187-88-1111

「しあわせ公園」 利用開始の お知らせとお願い

大曲地域幸町(地域交流センター)はびねす大仙隣り)の街区公園「しあわせ公園」は12月1日から利用できます。

なお、芝生は養成中ですので、しばらくの間、芝生へ立ち入らないようお願いいたします。

【問い合わせ】

都市計画課
☎0187(66)4908



12月1日から利用可能となるしあわせ公園。芝生の養成中は芝生に立ち入らないようお願いいたします。

女性フォーラム 次世代への伝承 女性の役割

女性のさまざまな役割について考え、これからの暮らしや地域につなぐための講演会などを行います。子育て中のお母さんもぜひ参加ください。

◆日時/12月10日(金)

午後1時30分～3時30分

◆会場/女性センター

◆内容/

【講演会】「古さ・新しさの知恵と術でめざす心地よい風習づくり」・成田玲子さん(ライフプラン指導講師・食育アドバイザー)

【活動発表】

石川篤子さん(大曲消費者協会会長)、山田アイ子さん(大曲直売所「菜果真」会長)、

吉村千鶴子さん(吉村クリニック看護師長)

【問い合わせ・申し込み】

女性センター
☎0187(62)1713

チケット残りわずか! 中仙市民会館自主事業 因幡晃アコースティック コンサート

大館出身のシンガーソングライター・因幡晃さんの叙情的で独特の世界観をもつ楽曲と、圧倒的な歌唱力のコンサートをお楽しみください。

◆日時/12月11日(土)午後6時開演午後5時30分開場

◆会場/中仙市民会館(ドンパル)

◆チケット販売/全席指定

【S席】3500円
(当日4000円)

【A席】3000円
(当日3500円)

【問い合わせ】
中仙市民会館(ドンパル)
☎0187(56)7200



製造事業所の方々へ 工業統計のお願い

平成22年工業統計調査の実施にあたり、12月下旬から来年1月上旬にかけて調査員が伺います。調査票には12月31日現在の状況を正確に記入ください。(記入いただいた内容は秘密が厳守されます)

【問い合わせ】
総合政策課 内線238

大仙の元気をアピール ふるさと手作りCM大賞

市では大曲高校放送部・JA秋田および中仙支店のみなさんなどから協力をいただきCMを制作。「あきたふるさと手作りCM大賞2010」に参加し、大仙の元気をアピールしました。ぜひご覧ください。



CMの制作を行った大曲高校放送部のみなさん

放送日時 / 12月13日(月)
午後6時56分～(12組目に出演)
放送局 / AAB 秋田朝日放送
※放送日時が変更になる場合あり



ホームタンクは 定期的に点検を 油漏れに注意ください

灯油等の消費が多くなるこの季節、毎年油もれの事故が多発します。河川や側溝へ油が流出した場合、事故処理費用は原因者に請求されます。

ホームタンクや配管は定期的に点検し、コックの閉め忘れなどには十分に注意しましょう。また、ポリタンクなどに移す際にはその場を離れないようにしましょう。もし、油もれ事故が起きた場合は、速やかに消防か市役所に連絡してください。通報の遅れは被害を大きくし、費用負担も大きくなります。

【問い合わせ】

各総合支所市民課
環境課 内線277
広域消防本部
☎0187(63)0150

ペアーレ大仙 キッチンスタジオ 開設記念料理教室

ペアーレ大仙では、料理講座などを行えるように、キッチンスタジオを増築しました。

開設を記念して料理研究家の米本かおりさんを招いて料理教室を行います。

- ◆日時 / 12月7日(火)
午前10時～
- ◆会場 / ペアーレ大仙キッチンスタジオ
- ◆定員 / 16人
- ◆参加費 / 2000円(食材・保険料)
- ◆持参するもの / エプロン、内履き(スリッパ)
- ◆申込期限 / 12月6日(月)

【問い合わせ・申し込み】

ペアーレ大仙
☎0187(63)8600

「米粉のポケットブレッド」「若鶏のスパイシーフリット」「まるごと秋田のしょっつるココット」「アップルライスカスタード」を作ります。ぜひ参加ください。



日本語指導 ボランティア養成講座

日本語の教え方の基礎を学ぶ講座です。6回の講義で日本語の教科書分析や授業計画の作成、模擬授業などを行います。将来的には地域在留外国人に日本語を指導するボランティアとして活動していただきます。

- ◆期日 / 12月19日(日)・1月15日(土)・16日(日)・22日(土)・23日(日)・29日(土)
- ◆時間 / 午前10時～午後3時
- ◆会場 / 大曲交流センター
- ◆参加料 / 無料
- ◆申込期限 / 12月15日(水)

【問い合わせ・申し込み】

生涯学習課 内線339

クリスマスの集い

ひとり親家庭を対象にしたクリスマス会を行います。みんなでクリスマスを楽しみましょう。

- ◆対象 / 市内に住所がある、ひとり親家庭の親子(母子および父子)
- ◆日時 / 12月12日(日)
午前10時30分～
- ◆会場 / 大曲エンパイヤホテル
- ◆参加費 / 1人1000円(子どもは無料)
- ◆申込期限 / 12月7日(火)

【問い合わせ・申し込み】

市母子寡婦福祉連合会事務局(児童家庭課内)
本庁内線150

人権・行政に関する 無料悩み相談会

人権擁護委員と行政相談員が悩みや困りごとの相談を受けます。ささいなことでもお気軽に相談ください。

期日	会場
12月3日(金)	中仙農村環境改善センター
4日(土)	西仙北中央公民館、 神岡福祉センター
6日(月)	ペアーレ大仙、 仙北就業改善センター
7日(火)	太田文化プラザ
9日(木)	南外公民館、 協和市民センター(和ピア)

◆時間 / 午前10時～午後3時

【問い合わせ】

各総合支所市民課
本庁市民課 内線130

新たなる100年の始まり

百歳百歳

明治43（1910）年、諏訪神社祭典の余興として始まった

「全国花火競技大会」大曲の花火

今年も過去最高の80万人の観覧者を記録

最も歴史と格式ある大会の100年目として耳目を集めた

今大会を振り返り、その根底にある花火に対する哲学や

地元花火師の挑戦、裏方の支え、大会提供にかける情熱、

花火への地域住民のかかわり、新たな花火の楽しみ方、

花火や地域がもつ力などを取材した

毎月花火の打ち上がる大仙市にとって、

「花火」はわがまちの誇りであり、宝である

さまざまな輝きを放ち、新たなる100年が始まった



第 84 回全国花火競技大会夜花火の部オープニングの 500発ナイアガラ付きスペシャルスターメイン「伝統」





百歳百彩

01

検 証

100年のメモリアル、多くの人でにぎわった

経済効果 155 億円超 観覧者数 80 万人

お天気の神様も味方に

天候は快晴、最高気温32度。待ちに待った第84回全国花火競技大会「大曲の花火」が平成22年8月28日、開催された。

観覧者数80万人、前年比12万人増の過去最高の入場者を記録した。フィデア総合研究所(本社・山形市)が試算した経済効果は約155億円超。「1日だけのイベントとしては波及効果が東北最大規模」(研究開発グループで、農産物の購買による1次産業や雇用の創出にも及んでいるのが特徴という。

同総研の試算では、秋田竿燈まつりの県内への経済効果は3日間で約200億円だったというから、その規模の大きさが分かる。

高い前評判

節目の記念大会にふさわしい企画の数々。例年以上に華やかな火の競演が楽しめることあって、開始前から期待が過熱。マスコミも大きく取り上げ、まつりムードをいっそう盛り上げた。

有料観覧席は約2万枱。今年も抽選販売とし、一般、電話、インターネットの3通りの申し込み方法を用意した。

PLAYBACK

決して後戻りできない「新たなるパラダイム スタートの年」



Koichiro Honishi

花火研究家
小西 亨一郎さん
(佐野町)

100年の節目を迎えた大会を「新たなるパラダイム（枠組み）スタートの年」と話す小西さん。いままでの企画や流れ、運営など従来の枠組から一歩踏み出した試みがなされ、長い歴史の中でエポックメイキング（画期的）になり得る大会。新たなる100年への試金石。これからは役立てなければならない、「後戻りできない第一歩を踏み出した大会」と総括する。

観客数80万人、とにかくすごい数の人だった。100年効果でマスコミもいろいろ企画や番組で取り上げ、露出度の高い年だった。「一度は見てみたい花火大会」と評価されるなど、日本における最高峰の花火競技大会として、全国の認知度がいっそう高まった。

有料観覧席（桟敷席）の購入も困難になり、倍率は6倍を超えた。プラチナチケットを求め、インターネットのオークションでは高額で取り引きされるほどだった。

前日から大曲を訪れたお客を楽しませた“前夜祭”の開催。花火通り商店街でのイベントが最高の「おもてなしの心」を発揮した。

今大会の特別番組の企画立案に携わった小西さん。「ふるさと賛歌 大曲の花火100年」と題した企画では、明治・大正・昭和・平成の名作品を紹介。新たなる一歩に向け花火の温故知新を探究した。

日本の文化遺産ともいえる花火の名人技を再現するため、その作品を得意とする名人花火師に製作を依頼した。手回ひまかかると依頼にもかかわらず、「大曲だから」という理由で快諾してくれる花火師。依頼の電話をしながら頭を下げっぱなしだったという。

「大曲の花火とは、とてつもない宝物であり、地域にとって誇りや心の支え。大曲に生まれ、この世の幸せを感じる」と胸を張る。「誇りや地域愛、魂がこの地に宿り、次代へと広がっていると感じます。最高のおもてなしという気持ちだけでなく、これからは出演者として地域住民一人一人が役を演じていかなければならないと思います。今大会は、気概を持って次の100年を築き上げていくことを表明できた年」と自信に満ちた言葉が印象的だった。

- 1 1週間前の21日からキャンパーが行列
(26日午前7時52分)
- 2 駐車場入場待ちの行列を会場西側の堤防に移動(26日午前8時32分)
- 3 早朝のキャンプ場(当日午前5時19分)
- 4 距離1.5キロの観覧会場(当日午後6時2分)
- 5 6 続々と会場に詰めかける人の波
- 7 有料観覧席を求めて全国から3,147人
- 8 徹夜明けの交通情報センター
(当日午前8時18分)
- 9 自由席を求めてダッシュ(当日午前9時30分)
- 10 会場の混雑状況表示板(当日午後2時38分)
- 11 帰りのJR大曲駅(翌日午前0時28分)



500人限定の直接購入の一般販売は8月1日午前8時半、大曲市民会館で抽選が行われた。倍率は6・3倍、3147人が券を求め会場に集まった。

1週間前から入場待ち

観覧会場に1番近い駐車場への入場待ちは21日から始まった。23日夕には列が住宅街に迫るほど伸びたため、待機を打ち上げ会場側堤防に誘導。それ以外のキャンプ設置可能な駐車場でも入場待ちが発生したため、開場を1時間繰り上げて対応した。

前年は当日午後1時25分に満車になったテント設置可能駐車場が、今年は当日午前1時半にすべて満車(2957台)。郊外の無料駐車場の開場を繰り上げ、誘導した。駐車場従事者の携帯電話に情報を適時送信。情報を共有し対応。結果、市が指定した駐車場には一般車が9587台、バスが614台駐車した。

秋田道では、大会開始前の28日午前9時ごろから、下り線北上JC付近で14キロの渋滞が発生、終了後も横手IC、湯田IC間の上り線では29日午後6時40分ごろ、大会終了から約21時間後に渋滞がやっと解消した。

JRの利用率も過去最高。列車

に乗れなかった人はいなかったが、日付が変わっても駅前には長蛇の列が続いた。

無料席に1万人

会場内の無料観覧スペースで花火を見ようという人の列は昨年の2倍。姫神橋付近のゲートには開場時刻の午前9時半までに約1万人が並んだ。

続々と詰めかける人の波。観覧会場の混雑状況は、午後2時の段階で100%超。昼花火競技が始まる午後5時ごろから約40分にわたり観覧場への入場を制限した。

救急車の出動件数は70件で、応急救護所で処置された方が161人だった。

新たな反省点として

予想を上回る混雑の中、事故もなく無事に終了。しかし、反省点も多い。

テント設置可能駐車場の完全予約制、占有面積による駐車料金の検討、雑踏警備や混雑状況への対応、交通規制、ごみ減量への協力と取り組みなど、多くのことを学んだ。

これらの課題を踏まえ、次の大会に向けての準備が始動している。

百歳百彩

02

哲 学

大曲の花火の底流には “もてなしの心”

地域住民の心意気

秋田を印象づける“おもてなし”

明治42年、時の秋田県知事、森正隆は秋田のよさを宣伝するために東京の新聞や雑誌記者20数人を招いた。記者団は第一夜を大曲で過ごす。この土地ならではの“もてなし”をするよう、大曲の青年たちに依頼する。

その歓待はすさまじかった。丸子橋から50畳敷きもある大船に乗り込み雄物川に乗り出した。その後を料理を積んだ折り詰め船、ビヤホール船、民謡一座を乗せた芸能船、医師や看護師を乗せた救護船などが続いた。そして松山の辺りに到着したところで数多くの打ち上げ、仕掛け花火で歓迎した。

「花火は仙北の名物、千百花火を打ち上げて仙北一帯明るくなった」「火は水となつてほとぼり、水は火となつて湧く」「この地未曾有の大にぎわい、美観壯観はこの世の事とは思われず」。

その年12月に発行された「知られた

る秋田」に、招待した記者たちが、このような記事を掲載した。大曲の花火誕生1年前の出来事である。

諏訪神社宵祭りを花火で盛大に

諏訪神社（大曲上天町）の祭典では花火が打ち上げられていた。明治43年、その年の祭典当番だった地主、佐々木吉郎右衛門は祭りの余興として盛大な花火を企画した。地域の地主や有力者も賛同。「第1回奥羽六懸煙火共進會」が開催された。前年の記者団歓待成功で大曲を紹介する機運が高まり、第1回大会につながったといわれている。

大会会長を仙北郡主・曲木光弼とし、地域の文化人が編集、経営に携わっていた仙北新報社（現在の秋田民報社）が主催。参加者は東北だけにとどまらず、花火の本場であった愛知県からも参加した。競技大会として、大曲の花火が産声を上げた。

2日間にわたる競技会

8月26、27日の2日間開催の第1回

大会。出品数は秋田県から132発、山形県36発、福島県42発、宮城県24発、愛知県6発だった。

仙北新報社の記事によると、26日午後7時、小松寅吉（小松煙火工業初代）の打ち上げが始まり、翌27日午前0時でいったん中止。再び午前9時半から夜まで続いた。審査は1発ごとに匿名投票で競った。また、秋田魁新報は、打ち上がった花火の種類を挙げながら「数百種にして彩光さんさん…大曲は真に不夜城の観あり」と描写している。

大曲の代名詞「創造花火」

人気を呼んだ花火競技大会だが、昭和30年代には観客数も頭打ちになる。

37年、予算も少なかった時代だったが、花火師の存在、関係を大切にしていた佐藤勲が大会実行委員長に選ばれた。

佐藤は「花火の玉を買っているのではない。花火職人の才能を買っているのだ」と花火師との信頼を集めていった。

38年、これまでの常識を覆す新しい花火が佐藤にひらめいた。日本の花火

Document



県外客を呼び込もうと、大曲市商工会青年部の会員らがキャラバン活動。「大曲の花火」の横断幕をバスに掲げ、そろいのはっぴで各地を訪問した。（仙岩峠で撮影・昭和40年代）



第1回奥羽六懸煙火共進會書類綴。「白菊」「黒煙分砲」「散り松葉」など大会に出品された玉名が書かれてある。（南秋田民報社所有）



1800年初期に菅江真澄が書いた地誌「月の出羽路」に描かれている民俗行事「大曲ノ郷の眠流」の挿絵には、のろしが打ち上がっている挿絵が描かれている。（大仙市所蔵）

客との一体感を求め、もがき続ける



Koji Sato

大曲の花火審査委員

佐藤 紘二さん

(大曲花園町)

佐 藤勲さんの次男で、親子2代で大会運営に携わる佐藤さん。「今立ち止まって考えれば、私たちの取り組みが最先端だったように思えますが、その瞬間瞬間はお客様との一体感を求め、もがいた覚えしかありません。先をいこうなどといった意識は皆無。全国に及ぼす影響が大きかっただけに、中途半端な取り組みはできなかった」と思い返す。

成長の陰には、ライバルとなる土浦の存在や増え続ける観客など、克服しなければならぬ問題が山積。みんなで知恵やアイデアを絞ったことが好循環を生み、今の大会があるという。

「今大会を節目に“新しい何か、”ということ考えた時点で、何か不安な要素が出てくるような気がします。感動を求めて真剣に取り組んできた成果が今であり、それが今後も求められる姿だと思います」と話す。

花火に関わり楽しむことが務め



Morihisa Takahashi

諏訪神社禰宜

高橋 徳久さん

(大曲上大町)

大 曲村年中行事絵巻は、平福穂庵(ひらふくすいあん)による明治初頭の作と鑑定され、絵巻の中には神社の宵(よい)祭りで打ち上がる花火が描かれている。

「少なくとも明治の時代から、大曲では花火が打ち上げられていることになりました」と話す高橋さん。大曲花火倶楽部に所属するなど、仕事以外でも花火にかかわっている。

明治43年、神社のお祭りがきっかけで始まった大曲の花火が全国的に有名になったことは、神社としても大変誉れ高いこと。今後も安全に継続して開催されることを願っています。

「花火に限らず、地元の仕事に関わることは、地域に生まれたものの楽しみであり、責任や務め。生まれたころから花火が身近に存在する土地柄。花火に対して自然に興味を持ち、携わるのではないのでしょうか」と話す。

【大曲村年中行事絵巻】

(諏訪神社所有・市指定有形文化財)

諏訪神社と関わりの深い大曲の伝統行事、祭典などが描かれている。

写真右下の部分には、たくさんの人が橋の上から花火を見上げる姿が描かれている。橋のらんかんには「丸子橋」と書かれている。



の伝統を覆す花火。一般的に分かりやすく、ショー的要素が含まれる「創造花火」、その後の大曲の花火の代名詞。また佐藤は昭和54年のボン、58年デユッセルドルフ、62年西ベルリンとデユッセルドルフで花火を打ち上げ、平成2年「世界の花火師大曲会議」、4年「国際デザインフェスティバル大曲」の開催など、大曲の花火を世界にも広めた。昭和38年の37回大会から通産大臣賞、平成12年の74回大会から内閣総理大臣賞が授与される、名実ともに歴史

と格式ある大会に成長した。**地域の心意気と人とのつながり** 大曲の花火は、地元地直らの発案で誕生。その発展の陰には、地元を盛り上げようという思いや、もてなしの心が存在。多くの人の貢献があり、地元にとどまらず、人脈をうまく取り込みながら一大イベントに成長していった背景がある。地域住民の心意気と人とのつながり。それが「大曲の花火」の哲学だ。

Episode

明日の花火をつくった先駆者「佐藤 勲」

創 造花火の生みの親、佐藤勲さん(平成8年、85歳で死去)。大会実行委員長に選ばれた当時、大会の観客数は5万人まで落ち込んでいた。

「観客を20万人まで増やしたい。そのためには新しい花火を打ち上げなければ。佐藤さん頭の中は、花火のこといっぱいだった。

「玄人受けする昔ながらの花火ではなく、一般に分かりやすく、十分に楽しめるショーにしてこそ多くの観客を呼べる」と考え、人気復活の秘策として創造花火を考え、実行委員会で意見を発表するがアイデアは一蹴され、猛反対を受けた。

しかし、花火変革の情熱が衰えない佐藤さんは、全国の花火師に相談と説得を続けた。そして花火師の賛同を得ることに成功。その陰には、佐藤さんが今まで花火師を大切にしながら築いてきた、信頼の上に成り立つ交流と情熱があった。

38年の37回大会で全国初となる常識破りの新しい花火が夜空に舞って以来、大曲の花火の代名詞となった創造花火。革新的な創造花火や現在の大会運営は、一人の熱意とアイデアから生まれたとあって過言ではない。



地元花火師と一緒に花火を見上げる佐藤勲さん。全国の花火師が一目を置く存在だった。(昭和57年の大曲の花火打ち上げ現場・手前右)



株式会社 小松煙火工業
五代目 小松忠信さん
(内小友宮林)

大 曲の花火の割物の部の出品規定が昨年「三重芯以上」に変更。より高度な技術が必要となった。

芯入り割物は大変難度の高い花火。花火には「星」と呼ばれる、花火の花弁を形作る部品が詰められる。芯入りとは、その内側にさらに星を配置する手の込んだ作品。三重芯とは3層の芯と外側の星、開花すると4つの色の層を作り出す。

今年の大会への出品27業者中、6つの色の層を作り出す、最高難度の「五重芯」に挑んだのが2社。そのうちの1つが小松さんで、優秀賞に輝いた。小松さんの挑戦は、平

「記憶に残る花火を作り続けたい」

成18年に始まった。前年、自分では完璧と思える四重芯を上げたが、技術的に改良の余地がある五重芯を上げた業者に及ばず準優勝。「自分が美しい五重芯を打ち上げる」という思いを強くした。

世界一精巧な花火作りへの挑戦。試し打ちを繰り返し、その映像を解析。「まだまだ試行錯誤の連続です」と話す。

日本の花火を代表する割物花火。伝統的な技術だが、時代に合わせ、その技術は革新を続ける。

三重芯以上の、いわゆる多重芯全盛の今。万雷の拍手を求め、改良を重ねながら記憶に残る花火作りに挑む。

Kazuyuki Numekawa



株式会社 和火屋
四代目 久米川和行さん
(神宮寺福島)

炭 火の火の粉のよう。穏やかで、郷愁を感じさせる花火を会社名に冠する久米川さん。「和火こそ花火の原点」と色へのこだわりは高い。

明治期、海外からさまざまな発色用の薬品が手に入るようになり、多彩に色の表現が可能になった。これ以前の花火を「和火」、これ以降を「洋火」と呼び、一線を画している。

洋火全盛の現在、古の輝きの復活は、私たちに新鮮な衝撃を与えた。「シンプルだからこそ難しい」。往時の色合いそのままでは光が弱々しく、現代の明るい夜空の中では見えづらい。独自の燃え

「夢のような空間を作りたい」

方や色の変化に工夫を凝らす。「思い描いた色を出せるまで何年もかかったことがある」と話す。

また、中間色、パステルカラーにも定評がある久米川さん。今年の土浦の大会では、たぐさんの小花が広がる千輪菊でハナミズキを表現し、スターマインの部で見事準優勝。薄紅色と白色のハナミズキを基調としながら、和火屋の十八番「彩色千輪菊」で花束を演出。パステルカラーの世界で、観衆の心を奪った。

「普段の生活を忘れ、素直な気持ちで楽しめる、夢のような空間を花火で作りたい」と、そのための苦勞は惜しまない。

Rival & Supporter

目標は同じでも 方法はみんな違って それでいい

好敵手であり、よき理解者

大 仙市には4つの花火業者がある。“花火、”という特殊な業者が、この狭いエリアに、これほど存在するという事は地域の生活に花火がいかに密接し、盛んであるかがうかがえる。

互いに切磋琢磨して、「技術」を磨き、競い合える環境という好条件の中での日本一の花火作り。

目指すところは同じであっても、それぞれが独自性を出しながら、懸命に取り組んでいる。



株式会社 北日本花火興業
四代目 今野義和さん
(神宮寺下金葛)

平 成に入り、大曲の花火の創造花火の部で優勝7回。土浦の創造花火では17年から5連覇を達成している今野さん。「創造花火の皇帝」「型物の天才」の異名を持つ。夜空に何らかの形を描き出す型物花火。「麦わら帽子」「サングラス」「風車」など数々のヒット作品を誕生させた。球状でなく平面的に広がる型物花火だけに、花火が開く時の向きが重要。その姿勢を制御する神業を確立。昨年は「アフロヘア」で魅了。過去に3回、内閣総理大臣賞を受賞している。

「花火ショーには、サーカス同様にピエロが必要

「花火を芸術の域に近づけたい」

なんです。ハラハラドキドキの連続では見る方が疲れてしまいます。笑いや歓声が起こる、そんな息を抜いてくれる花火は場を和ませてくれます」と技術に裏打ちされた笑顔をのぞかせる。

しかし、今野さんの真骨頂はドラマ仕立てのイメージ性の高い花火といえる。自身の吹奏楽経験も生かし、花火によるオペラ、ミュージカルのような情緒あふれる進行で、音楽とマッチしたメッセーj性の強い演出が観客を魅了する。

「花火は芸術の域までまだ達していませんが、その域まで近づけたい」と次を狙う。



大曲花火化学工業 有限会社
四代目 新山良洋さん
(四ツ屋上原野)

ドンドン・パンパン。花火の炸裂音と光に続き、ドンパン節がスタート。今年の大曲の花火で、秋田を代表する民謡を音と光で表現した新山さん。花火の卓越した技術者として「現代の名工」に選ばれた祖父、故・虎之助さんが昭和に開発したものを改良した、まさに平成のドンパン節だった。今回は、より大きな音が響き、より鮮やかに開くよう手を加えた。

「花火の名人と呼ばれた祖父。技術の高い花火を絶やしてはいけない。ドンパン節花火で再び勝負したいという思いが強くなった」と100年の

「挑戦し続けることで感謝を」

歴史を作ってきた大会に満を持して出品。「挑むことで祖父をはじめとする先人に感謝を表したい」と話す。

今年の熊本県八代の競技大会では、5号玉の部で優勝を飾った実力者。花火の神様と言われた長野県故郷・青木多門さんに4年間師事を仰いだ。青木さんは、割物花火の第一人者で、くしくも祖父の兄弟弟子にあたる。

きつくて、つらい修業で花火作りの奥深さを知った。期間中に「花火は一生修行。満足すれば技術向上はない」と口酸っぱく言われたが、常に高みを目指すための戒めとして今は理解している。



百歳百彩

03

地元花火師

百歳百彩

04

支える専門職

決して表舞台に立たない黒子たち

輝き出す思い



星花火競技時の打ち上げ本部の様子。現場は張りつめた空気に支配される。(午後5時15分)
打ち上げ本部は、安全確保のため、ポリカーボネートのつい立てと畳で覆われる。
打ち上げやアナウンスなど、すべての指示がここから発せられる。
声だけでは区別がつかないが、呼び出しは小西さん(右から2人目)を含め3人が担当する。

大会支える名調子

「ひよーじゅん、しん さだまー」

このユーモラスな抑揚の呼び出しを耳にして、大曲の花火を実感する人も多いだろう。

「標準番査玉」とは、採点の基準となる花火。この呼び出しで競技は始まる。

声のあるじは小西安太郎さん(佐野町・78歳)。半世紀近く、呼び出しを続けている。

この独特の節回し誕生の裏には、大会途中で声がかすれた苦い経験がある。ある大会後、花火師に「あなたは30回近く読み上げるだろうが、私の勝負は1回。かすれた声では拍子抜けだ」と指摘された。

ショックだった。声をただ張り叫んだだけでは長時間もたない。負担をかけず、会場に響き渡らせる今の発声に行き着いた。

「中学、高校時代、野球部の捕手として外野に届く声を出した下地があったから」と笑う。

花火の呼び出しは、男女の掛け合いで進行する。小西さんの長年のパートナーを務めるのが佐々木かつ子さん(四ツ屋・67歳)だ。小西さんの呼び出しの語尾が消えるか消えないかの絶妙なタイミングで、佐々木さんが

「昇曲付三重心変化菊」などと

玉名を紹介。情緒ある小西さんと、メリハリの利いた佐々木さんのアナウンス。対照的な声が、雰囲気さらに盛り上げる。

花火師の魂をも込めて

呼び出しが終わると、絶妙なタイミングで割物花火が2発打ち上がる。

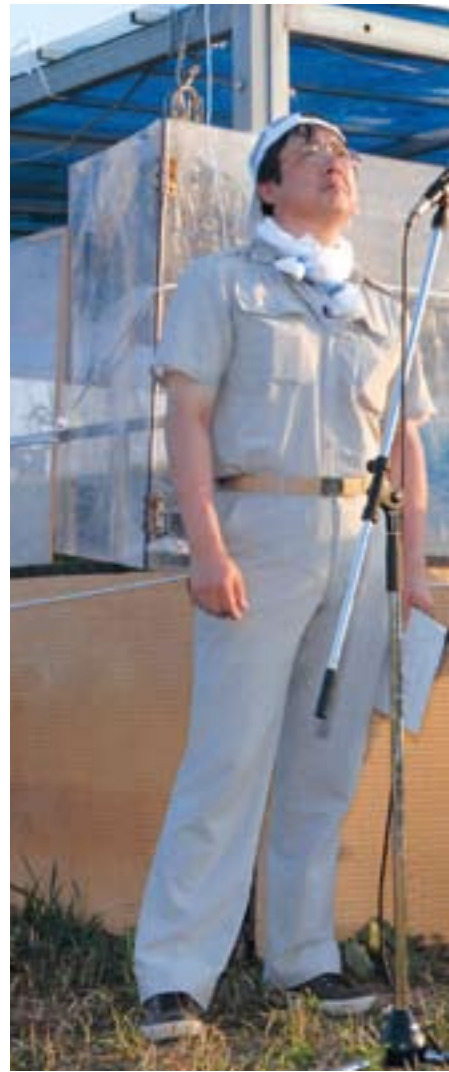
大曲の花火は、花火師自ら打ち上げる大会となっているが、割物花火だけは安全と公正を期すため、花火点火を鈴商電産株式会社 由井雍さん(東京都・65歳)に依頼している。電気工業を営み、遠隔電気点火の技術指導を行っている、その道の第一人者。

安全な現場づくりを目指し、他の大会に先駆けて導入した、大曲での電気点火。由井さんとの付き合いは21年目になる。

勝負がかかった競技玉を扱うだけに同じタイミングでの打ち上げが重要。操作は自然と慎重になるが、「デジタル全盛の時代、私はアナログで、まずは安全第一。花火師との信頼関係が大切な仕事。確実に打ち上げることで、より深められます」と魂を込めて点火スイッチを押す、その人差し指を見せてくれた。



1 絶妙の掛け合いの小西さん(左)と佐々木さん。2人以外に2組の男女が進行を担当しているが、大会提供など見せ場は老練なペアの出番となる。
2 花火師の魂が込められた割物の競技玉。大切な勝負玉を打ち上げるゆえ、信頼関係が大切と由井さんは話す。
3 今年から10号割物では、この大会のみで使用する競技専用の筒を取りそろえた。最高の条件で打ち上げる。



PROFESSIONAL • Interview



Yasutaro Honishi
 呼び出し担当
 小西 安太郎 さん

節目の大会。周りの期待も大きく、第一声は緊張して力が入りました。大会に備えての発声トレーニングは、移動する車の中、一人で行います。大会前2週間は、大好きなお酒を控え本番に臨みます。100年間守ってきた歴史を次代に引き継ぐ義務があり、第100回の大会を見届けたいと思います。



Katsuko Sasaki
 アナウンス担当
 佐々木 かつ子 さん

大曲商工会職員だった時、ブロのアナウンサーの代役として起用されました。選挙でのうぐいす嬢としての経験を買われたのだと思います。小西さんとのペアは半世紀近く。これまで大会を休んだのは、出産と身内に不幸があった年の計3回だけ。大歓声と拍手が、私のやる気に火をつけます。



Yo Yui
 電気点火担当
 由井 雍 さん

日本一安全な大会運営を目指している大曲。全国のモデルケースとして、協力させていただきました。各業者の特徴や風向きなどを考え、公平に、同じタイミングで打ち上げるよう気を付けています。デジタル点火全盛時代ですが、花火屋の気合いを代行できるよう、点火スイッチを押しています。

どの活用として、花火のビデオが審査するかが大切だ。大曲の花火は14人の審査委員が審査する。芸術性を審査する12人と、安全面を審査する2人。昨年までは芸術性の最高、最低の点数を除いた合計に安全面を加味して点数を決めていたが、個々の審査委員のばらつきを補正する手法として偏差値ポイントを導入。また、審査資料などへの活用として、

公正なジャッジメント

格式ある大会だけに、どの花火業者も最高の花火を出品する。優秀付けがたい珠玉しゆぎよくの作品を誰もが納得するよう、いかに評価するかが大切だ。

「花火師も観客も納得する評価が必要です。正當に評価される大会だから、花火師は技のすべてを込めた最高の花火を打ち上げ、観客は質の高い花火で目を肥やす。この相乗効果が大曲の花火をハイレベルな大会へと押し上げるのではないのでしょうか」と審査部門を担当する大会総務部会長の佐藤雅俊さん(若竹町・59歳)は大曲の花火の魅力を話す。決して表舞台に立たない黒子たちの努力の上に、日本一の大会が成り立っている。



第80回大会「日本の花火」

第81回大会「BEAT OF PASSION」

第82回大会「未来惑星 栄光への輝き」

第83回大会「新世紀維新 武士道」

百歳百彩

05

情 熱

1年かけて準備、毎年新たな試みで楽しませる

光彩陸離

壮大な余興

“大会提供”

PASSION



幅

550呎、約6〜7分にわたって打ち上げられる「大会提供」。毎年違ったテーマで、観衆をくぎ付けにする。

昭和38年に始まった大会提供の起こりを、大曲の花火発展の中心的役割を果たした佐藤勲さんは自著「THE HANABARI」の中で、「大曲の花火大会は競技大会だが、ショーとして運営しなければ永續性がない。そのためには呼び物となる花火が必要だった」と説明している。

今年の大会提供のテーマは、「挑戦 新たななる100年の始まり」。挑戦の繰り返しだった大曲の花火。これからの100年に向けて、さらに挑戦を続け、進化していく姿を表現した。

コンピューターによる打ち上げ技術を駆使。音楽と融合させた未来型のスピード感あふれる展開。その中で、古来からの割物花火で、堂々とした威厳を演出するなど強弱ある展開だった。

「大会提供は注目されますが、主役は競技花火です。大会を退屈させないための余興ですから」と話す大会関係者。

情熱を注ぎ、1年の時を費やし準備を進める大会提供。壮大な「余興」の準備は、来年に向けて、すでに始動している。

百歳百彩

06

参画

復活前夜祭

自分たちの祭として覚醒 もてなしの心



1 たくさんの人が前夜祭に訪れた。
 2 県内のご当地グルメ大集合
 3 ナイアガラと水上を泳ぐ金魚花火などが楽しませた。
 4 当日祭もすごい人出
 5 ペアール大仙で行われた「花火を活けるフラワーデザイン展」
 6 前夜祭で演舞したヨサコイチーム「大仙こまち百蓮會」

花火の前に、うまいもの！

大曲の花火の前々日の26日、前日の27日と当日の28日、JR大曲駅前・花火通り商店街の丸子橋特設会場で、「大曲の花火前夜祭・当日祭」が開かれた。民謡や音楽ライブ、県内のご当地グルメの屋台が並び、100年を迎える花火を盛り上げ、観光客を楽しました。昭和40年代には実施されていた前夜祭。久しぶりの復活となった。

大曲商工会議所青年部や大曲青年会議所、各年代会有志などで組織した「100年祝い隊」が商店街と協働し主催。納豆汁の活動で知り合った、県内のご当地グルメ団体「横手焼きそば」「神代カレー」「男鹿塩焼きそば」「秋田かやき」「本荘ハムフライ」「横手よこまき」そして「阿仁なんこ鍋」などの10団体が大集合。ご当地グルメの宝庫である秋田県。県内のグルメ仲間が協力して集い、「花火の前に、うまいもの！」を合い言葉に花火を盛り上げた。

また、「前夜祭 お祝い花火」と称し、金魚花火やナイアガラ花火、そして4号玉までの花火を打ち上げ、地域住民はもとより前泊客を楽しませた。

居心地の良い空間づくり

この前夜祭の下地を作ったのが「土屋館衆」(辻卓也代表・会員約50人)と呼ばれる団体。花火通り商店街有志や街のにぎわいづくりにかかわる団体の会員らが任意に立ち上げた。11月から3月までの冬期間を除き毎月第4土曜日、商店街でさまざまな催しを行っている。

ちょうど2年前、「まちの未来、そして夢を語りましょう」と集まった。4回ほどの会合の中で前向きな意見、批判的な意見など、さまざまな話がされた。その後、その夢を実現するために、実行動を開始。会の名を駅周辺のかつての地名にあやかり命名。開催日を大曲の花火が行われる第4土曜日とし、「土屋館わいわい広場」と名付け2年にわたり毎月実施している。

「中心市街地活性化」「昭和のにぎわいを取り戻す」といった気負いは会員からみじんも感じられない。とても楽しそうな笑顔が場を和ませ、ほっこりとした感覚を心にもしてくれる。

居心地よく生活できる商店街。人が集まればコミュニティができ、人が住む。人が住めば店も増える。今までは逆の発

花火関連商品をブランドとして統一化

花 火玉あられ、花火をデザインしたネクタイやハンカチ、タオル、置物、花火をイメージした香水。

JR大曲駅内の観光情報センターの物産コーナーには、花火の図柄と大曲の「お」の字をデザインしたシールを張った土産品が並んでいる。

大曲商工会議所青年部（齋藤浩英会長）が中心となった、「大曲の花火公認お土産検討協会」が公認した花火グッズ。共通ロゴ入りシールを張って、市内業者に販売してもらっている。

認定の対象は同商工会議所、市商工会、市大曲観光物産協会に加盟する企業や商店の商品。商品の独自性をはじめ、適正な価格、大曲の花火にふさわしい品格の有無などを審査し、基準を満たした商品を認定する。

現在で、101件の申請のうち87件が公認され、ロゴをあしらった紙袋や包装紙、ビニール袋も用意されている。



公認商品をまとめたパンフレットを来年1月をめどに作成中。将来的にはインターネットを利用した販売を考えている。

同会議所青年部は「認定を通して地元花火グッズの魅力を高め、県内外に大会ブランドをもっと発信していきたい」としている。

【問い合わせ】

大曲商工会議所 ☎ 0187-62-1262



土屋館衆一人一人が笑顔に包まれ、輝いている。何より無理せず、自ら楽しむ姿がほほえましい。



1 11月から3月までの冬期間を除き、毎月第4土曜日に開催される「土屋館わいわい広場」。季節にあわせた企画が用意される。

2 毎月恒例のもちつき。珍しくなったもちつきの実演。つきたてを粒あんやきな粉など、月ごとに異なる味で楽しめる。

3 季節の食材を使った、あつあつの「土屋館汁」。9月はいものこ汁、10月はキノコいっぱい汁だった。

5 大曲・仙北料理研究会の簡単レシピ講座と試食は人気企画の一つ。



まちづくりは「六分の俠気、四分の熱」



Takuya Tsuji

土屋館衆 代表
辻 卓也さん
(大曲中通町)

前 夜祭の開催について多くの方々から歓迎の言葉をいただき、大成功でした。

横手焼きそばに代表されるような、ご当地グルメでまちづくりを行っている、秋田県「食」のネットワーク協議会の仲間の協力で、魅力的かつ集客力がある食の屋台が勢ぞろいしました。

また、大曲地域では同じ学年の「年代会」という組織があり、42歳を迎えるとぼんでん奉納や大曲の綱引きなどの地域行事を担います。各年代会の力やまとまりを借りながら、連携して新しい取り組みに挑戦したいと考えました。

「花火は見るもの」という感覚から「自分たちで作りあげるもの」に変える。花火の日にイベント運営することで、私たちもそのような意識をもって参画できたと思います。

花火会場は立派に整備されていても、観覧客が憩う場所や食事できる場所といったものがまだまだ不足しているように感じます。

まち全体が「もてなす気持ち」をもち、まちの魅力を引き出し、連携することでパワーアップ。横の連携で伸びる要素はまだまだあります。

想で、無理のない方法、息の長い活動にしたいと考えている。いろいろな団体が連携協力することで、互いが補完できる。

毎回趣向を凝らした企画。社会福祉協議会の「あつたかサロン」、学校給食センターの無料給食試食会や大曲・仙北料理研究会の料理講習会、ペアール大仙の各種講座の発表会など、連携できる団体やイベントがあれば相互に協力し合う。また、季節

の食材をふんだんに使った名物「土屋館汁」やつきたてのもち、納豆汁など、ここならではのメニューでお客を楽しませている。

その延長線で花火の前夜祭といったイベントを開催。「100年」という節目の年だからといった理由も大きく背中を押した。

「前夜祭では、まちの人が花火にかかわっているという感覚が味わえる、そんな場所を作りたい」と会員は話す。

百歳百彩

07

交流

ファンのネットワークが花火を進化させる

花火ファン急増中 花火の新しい楽しみ方

進化する花火をアカデミックに楽しもう
「花火鑑賞士」

世界に広がる花火鑑賞士

「花火玉の断面を图示しなさい」
緊張感の中、花火と真剣に向
き合う人たちがいる。

「花火鑑賞士認定試験」が10月9日、北は北海道、南は鹿児島県から115人が集まり行われた。今年で8回を迎える、花火のまちならではの検定試験。定員80人に対し、毎年定員オーバーの状態。花火の概要、歴史、製造、打ち上げ方法などについて、4時間の講義を受け、試験に臨む。花火を楽しむ方法の一つとして、NPO法人大曲花火倶楽部(賢木新悦会長)が認定する資格で、昨年まで536人が認定された。最近では花火大会に合わせて、テレビや雑誌が鑑賞士を集めることも多く、その知名度が上がっている。

お客がお客をもてなす

花火鑑賞士が全国に広がるにつけ、大曲の花火の魅力が全国に発信されるだけでなく、全国の情報が集まる。毎年5月に行われる「花火鑑賞士の集い」で

は、全国の鑑賞士が大曲に集まり、情報交換を行っている。

また、大曲の花火の日中に行われる「花火鑑賞士による花火セミナー」も好評。花火通り商店街の花火庵で4回、大曲技術専門校で5回、1時間おきに行われる講演には、毎回たくさんの方が会場を訪れる。大曲の花火の観覧者だった鑑賞士が、大曲を訪れる方々をもてなし、魅力を伝えるのだからおもしろい。

「花火の楽しさを教えてくれた大曲に感謝」「大曲は花火の聖地だから」「花火の魅力伝えたい」など鑑賞士の思いもさまざま。花火が取り持つ交流の中で、大曲の花火のファンが、新たなファンを育てている。

「花火鑑賞士」

花火を知的に、かつ楽しく鑑賞するための技術向上を図ることを目的に、大曲花火倶楽部が認定。平成15年から年1回認定試験を実施。韓国、オーストラリア出身者を含め536人の鑑賞士が誕生。花火の伝道師として活躍。芸能人の西村知美さんも鑑賞士の一人で、著書「私にもできた、資格獲得30個」の中でも紹介されている。



- 1 全国で唯一花火を通じた活動をしているNPO法人大曲花火倶楽部。試験前の講座を受け持つ講師陣。市内花火師も講師を務める。
- 2 資格取得後のフォローアップとして行われる「花火鑑賞士の集い」。今年は、内閣総理大臣賞をはじめ数多くの賞を受賞している茨城県の野村煙火工業社長の野村陽一さんを招いた。
- 3 海外出身者を含め536人の鑑賞士一人一人の名前が花火庵に掲げられている。
- 4 花火の歴史、種類、製造、打ち上げ、鑑賞ポイントなど多角的に学ぶ
- 5 真剣に取り組む受験者。今年も100人の鑑賞士が誕生予定。試験風景
- 6 かつて大曲の花火の観覧者の一人だった鑑賞士が、花火の楽しさを伝え、ファンを増やす。
- 7 途中入場不可のセミナー。列を作って並ぶ姿も見られた。



4 花火鑑賞のポイント

⑤ 新物花火の玉名
昇曲専村八重芯文化節

① 上昇中の変化

花火が打ち上げられると燃焼した火が夜空に昇る事を「昇り」と言う。そして、打ち上げられてから開花するまでの過程を「曲」もしくは「曲線」という。あわせて「昇り曲」もしくは「昇曲線」という。





- 1 参加者の意識は、風にたなびく残月に集中する。
- 2 2m以上先まで残月を追いかけけることもあり、持久力が必要。切り株に足をとられ、転倒する人もいる。
- 3 残月は誰の手に。この後、風のいたずらで雨具を着た手前の人々がゲット
- 4 花火打ち上げと同時に走り出す子どもたち
- 5 残月花火に適した広大なフィールドが大仙にはある。



駆け巡れ仙北平野、つかみ取れ夢残月 「残月花火」

世代を超えて走り回る

神岡地域北檜岡の稲刈り後の田んぼ。この広大なフィールドを子どもたちが駆け回る。

「残月花火」は、花火に仕込まれたパラシュートが上空で飛び出し、それにつられた長い旗が舞い降りてくる花火。

パラシュートの白い部分が夜明けの月に似ていることから「残月」といわれ、大仙市周辺では古くから親しまれてきた伝統文化。神社の奉納花火としてよく打ち上げられた。なかには旗に商店名が記したのもあり、その店に旗を持ち込めば商品に換えてくれたものだった。

地域の文化、よさを再確認

そんな地域の伝統文化を復活させようと、大曲花火俱樂部が花火イベントとして復活。その後を大曲青年会議所（久米川和行理事長）が引き継ぎ、毎年11月3日、文化の日に開催している。青年会議所にバトンが移ってから

は名称を「全日本残月花火選手権大会」とした。4回目となる今年は、幼児から一般までの過去最高の約300人が参加した。

競技は年齢により各部門に分かれ、舞い降りた残月をつかみスタート地点に戻る速さを競うものと、元来の残月花火の醍醐味を味わうクラシックの2種類。競技規定もユニークで、「晴天でも手袋、長靴着用」「審判に聞こえるように文句を言わない」「悔しくても泣かない、怒らない、けんかしない」「仮装等は大いに奨励」など、遊び心満載だ。

「かつて稲刈り後の田んぼは、子どもたちの格好の遊び場でした。しかし、今では田んぼで遊んでいる子どもを見かけません。大仙市ならではのフィールドを走り回ること、地域の伝統やよさを再確認。祖父父母にとつては懐かし、子どもたちは初体験。世代間交流もできる、格好の素材です」と久米川理事長。新しい花火の楽しみ方が、ここにもあった。

「残月花火」

花火玉からパラシュートが飛び出し、それらにつられた長い旗が空から舞い降りてくる花火。大仙市周辺では古くから親しまれてきた伝統文化でもある。大曲花火俱樂部が毎月の花火行事のうちの一つとして11月に開催。現在は大曲青年会議所（久米川和行理事長）が「全日本残月花火選手権大会」として、神岡地域の稲刈り後の田んぼで文化の日に開催。今年で4回目。

PROSPERITY・Interview

見事に栈敷席をゲット

初めて参加した小松潤さん一家。流唯くんが小学生以下のクラシック残月に参加し、見事に栈敷席を手に入れました。

室内で遊ぶことが多い中で、外で思いっきり走る回るのは貴重で、とても良いことだと思います。

私たちの周りの最高のフィールドを利用した遊びは大歓迎。来年も参加したいと思います。



Nomatsu Family
小松 潤さん一家
(北檜岡宇留井谷地)

花火の力が受け継がれる



阿部 颯斗さん
(大曲小1年)

白っぽい色の花火が
きれいだと思います。
高く上がった花火が大
好きです。

東大曲小学校スマイル学年
(4年)

私たちはクレヨンを使って、み
んなで花火を描きました。いろい
ろな色や形、音がする花火。大好
きな花火を色の濃淡をつけ、大き
さのバランスを考えましたが、立
体的に表現することが難しかった
です。夜空をキャンパスに描く花
火は、きれいで迫力があり、私た
ちを夢心地にしてくれます。

百歳百彩

08

未来の力

花火みんな大好き

受け継がれる花火の遺伝子



山崎 未夢さん
(大川西根小3年)

大きな音の大会提
供。ぼかして光りを表
現。2種類の黒で黒い
空と煙を描きました。



山崎 陽輝さん
(大川西根小3年)

大会提供がお気に入
り。きれいで迫力ある
大会提供では、お客さ
んが盛り上がります



今野 さくらさん
(大川西根小3年)

ふるさとの川雄物川
と花火が好きです。川
面にうつる花火はきれ
いで、心に残ります。



伊藤 吉輝さん
(大川西根小3年)

迫力がある大会提供
が大好きです。今から
来年の大会提供が楽し
みです。

花火や地域がもつ暗黙の力 花火の楽しさ、美しさはもちろん



田中一輝さん
(大曲小1年)

大会提供を描きました。花火の「ドン」という音に、ぼくの心臓がドンといきそうでした。



深田みずなさん
(花館小3年)

花火にはたくさんの親せきが来ます。つながりいっぱい、花火の会話で花が咲きます。



加藤麻彩さん
(花館小3年)

花火を見ている人が、花火みたいな大きな笑顔を咲かせます。幸せな気分になります。



加藤誉也さん
(花館小3年)

大きな花火がバンとになって、キラキラ光りながら消えていくところがきれいです。



水品千夏さん
(花館小3年)

いろいろな形や色だったり、工夫した花火があって、とても楽しいです。



鈴木理玄さん
(大曲小1年)

ドカンと破裂する花火はすごいです。いろいろな色が広がる花火は、きれいです。

百歳百彩

09

平和と誇り

毎月花火が打ち上がる まちだから

花火の数だけ笑顔



毎月各地域で花火が打ち上がる大仙市

ふるさと愛と知恵、活力

万人を魅了してやまない一瞬の芸術品である花火。同じ火薬を使用したものでも、見るものに感動と勇気、そして夢を与える世界平和を願うエンターテインメント。刹那的な故にいつまでも心に響き、心に残るのかもしれない。

毎月どこかで花火が打ち上がる大仙市。花火は生活に密着した文化として息づいている。その中でも夏の終わりを彩る大曲の花火は、大仙市の代表だ。

100年の節目を迎え日本一の歴史と格式を誇る大会は、先人をはじめ、これまで大曲の花火にかかわってきたすべての方々の努力の結晶。ふるさとを愛する人々の物心両面にわたる支援、地域住民の知恵と活力を發揮しながら、さまざまな工夫と努力を重ね、現在の隆盛の礎

を築いてきた。

私たちは、平和の象徴といえる花火を総合芸術ととらえ、誇りを抱き、創造性豊かな市民性をこの土地ではぐくんでいる。

新たなる100年

今回の特集では、「P」で始まる英単語をキーワードに花火について話を進めてきた。

「P」は「人」を意味するパーソン(Person)の頭文字。人がもつパワー(Power)が人を揺り動かし、地域を築き上げる。

大曲の花火は「人をもてなす」という視点と、「地域を活性化させたい」という私たちの思いが交錯した結果。

トップランナーであり続ける、大曲の花火。「決して先をいこうとしたのではない。お客さんとの一体感を追求し、ひたむきに、そして真剣に取り組んできた成果が今現在。新しいもの

を求めるのではなく、今まで同様の努力を怠ってはならない」という大曲の花火に深くかかわってきた佐藤紘二さんの言葉が、取材の中で印象的だった。

100年の節目は新たなるスタート。築き上げてきた地域の財産や誇り、先人の魂を受け継ぎ、花火を市民共有のものとしてさらに磨きをかけていかなければならない。私たちは、その精神を決して忘れず、歩みを止めたい。

自分の役割や出番をわきまえ、大輪の花を見事に咲かせる花火。いろいろな彩りがあり、その一つ一つの大輪が、私たちがあり一人一人の笑顔なのだ。

「百歳百彩」新たな100年に向け、たくさん彩りをみんなで添えていけたらと思う。

【特集／百歳百彩】

新たなる100年の始まり(完)



日本では花火の歴史は1000年以上あり、毎年お盆の時期には、各地で花火大会が開催される。大曲の花火は、毎年お盆の時期に開催される。お盆の時期には、各地で花火大会が開催される。お盆の時期には、各地で花火大会が開催される。



【参考文献】▽知られたる秋田(瀧澤武発行)▽大仙市郷土史資料第21集(大曲教育委員会発行)▽大曲市史(大曲市発行)▽大曲の花火小史(同)▽八十回大会記念誌大曲の花火(第80回全国花火競技大会実行委員会発行)▽大曲の花火100年の魅力(秋田魁新報社発行)▽THE HANABAI(佐藤勲著)

【題字】竹村天祐(堀見内在住)



百歳百彩

新たなる100年の始まり

花火は空に咲く**夢**である

市民それぞれの**夢**も

ともに織りなす「大曲の花火」

これぞわがまちの**華**と

こぞって その熱き思いを結ぶ

保 育 所

就学前の子どもがいる家庭で、「日中子どもと離れて家庭内・外で家事以外の仕事をしている」「病気だったり病人の看護をしている」などの理由から、自宅での保育が難しいため、来年4月からの保育所への入所を希望する方は、入所申し込みをしてください（右表参照）。申込書などは本庁児童家庭課・各総合支所市民課・各保育所に用意してあります。

現在入所中の子どもがいる方には、保育所を通じて申込書等を配布しています。

◆対象／就学前の生後57日目以降の子ども（大曲乳児保育園は3歳児未満、南外保育園は原則3歳児以下）

◆提出書類／

①平成22年分源泉徴収票の写し（職場から発行され次第提出）

※確定申告をする場合は申告後、写しを提出

③平成22年1月2日以降に大仙市に転入された方は、平成22年1月1日現在の住所地での平成22年度住民税課税（または非課税）証明書など

【問い合わせ】

各総合支所市民課

児童家庭課 ☎0187-63-1111内線103

申込期間 12/9 木 ▷ 12 日

申し込み時間／午前8時30分～午後6時

（大曲庁舎は午後7時まで）※11日（土）・12日（日）は午後5時まで

申し込み先／下表参照

各保育所の定員と申し込み

地域	保育所名	定員	申し込み先
大曲	角間川保育園	45人	大曲庁舎市民ホール ※大曲地域の各保育園のほか、市内全保育園の申し込みも受け付けます。
	内小友保育園	60人	
	大川西根保育園	45人	
	藤木保育園	45人	
	四ツ屋保育園	120人	
	大曲乳児保育園	60人	
	大曲東保育園	120人	
	大曲南保育園	135人	
	大曲中央保育園	90人	
	はなだて保育園	120人	
	大曲北保育園	90人	
	どれみ保育園	40人	
日の出ベビー保育園	30人		
神岡	神岡保育園	120人	神岡総合支所市民課
西仙北	刈和野保育園	120人	西仙北総合支所市民課
	みつば保育園	90人	
中仙	中仙西保育園	150人	中仙総合支所市民課
	中仙東保育園	120人	
協和	協和保育園	80人	協和総合支所市民課
	淀川保育園	30人	
	船岡保育園	45人	
南外	南外保育園	60人	南外総合支所市民課
仙北	仙北南保育園	150人	仙北総合支所市民課
太田	おおた保育園	90人	太田総合支所市民課

※定員を超えた場合は希望する保育所に入所できない場合あり

へ き 地 保 育 所

高畑へき地保育所と土川へき地保育所の新入所児童を募集します。入所希望の方は高畑へき地保育所、西仙北総合支所市民課で手続きを行ってください。通所区域、保育時間については問い合わせください。

申込期間 12/1 水 ▷ 12 日

申し込み時間／午前8時30分～午後5時15分

申し込み先／下表参照

各へき地保育所の申し込み先と問い合わせ

地域	保育所	申し込み先・問い合わせ
大曲	高畑へき地保育所	高畑へき地保育所 ☎0187-63-6042
西仙北	土川へき地保育所	西仙北総合支所市民課 ☎0187-75-2973

幼稚園

来年4月からの各幼稚園の新入園児を募集します。入園を希望する方は各幼稚園に入園申し込みをしてください。申込書などは各幼稚園または教育委員会各分室に用意しています。(大曲地域は大曲保育会)

◆対象／

- 【5歳児】平成17年4月2日から18年4月1日までに生まれた子ども
- 【4歳児】平成18年4月2日から19年4月1日までに生まれた子ども
- 【3歳児】平成19年4月2日から20年4月1日までに生まれた子ども

【問い合わせ・申込書請求】(右表参照)

【**市立幼稚園**】入園を希望する各幼稚園

【**社会福祉法人立幼稚園(大曲保育会)**】

入園を希望する各幼稚園

大曲保育会事務局 ☎0187-62-4561

※市立幼稚園の申込書は学校教育課および教育委員会各分室でも受け取れます。

申込期間 12/9(木)▷14(火)

申し込み時間／午前8時30分～午後5時
(土・日曜、祝日を除く)

申し込み先／入園を希望する各幼稚園(下表参照)

各幼稚園の定員と申し込み先

幼稚園	3歳	4歳	5歳	申し込み先・所在地	
市立幼稚園	かみおか幼稚園 (認定こども園)	15人	9人	4人	☎0187-72-2148 神宮寺中瀬古川敷 31-4
	中仙幼稚園 (認定こども園)	20人	7人	10人	☎0187-56-4128 長野新山 131
	南外幼稚園	-	35人	17人	☎0187-73-1088 南外梨木田 96- 1
	みどり幼稚園	40人	46人	27人	☎0187-69-2117 堀見内藍野 75- 1
	太田ひがし幼稚園	20人	27人	24人	☎0187-89-1515 太田町太田築地古館 27
	太田みなみ幼稚園	40人	61人	54人	☎0187-88-2110 太田町横沢窪関南535-4
大曲保育会	大曲南幼稚園	40人	36人	46人	☎0187-62-1027 大曲花園町 4-88
	大曲北幼稚園	20人	23人	18人	☎0187-63-5118 大曲白金町 12-12

※募集人員を超えた場合は調整があります。

幼稚園・保育所の法人化

かみおか幼稚園・神岡保育所と中仙幼稚園・中仙西保育園は平成23年度に社会福祉法人大空大仙に経営を移譲します。また、平成24年度に、みどり幼稚園、太田ひがし幼稚園、太田みなみ幼稚園、平成25年度に南外幼稚園・南外保育園が大空大仙へ経営を移譲する予定です。



来年度、大空大仙に経営移譲される「すくすくだけっこ園」(写真左)と「なかせんワイワイらんど」

平成23年4月からの
入園・入所を受け付けます
期間内に忘れず申し込みください

幼稚園・保育所の 申し込み案内





おおきなせなかに お便り広場

11月号・11月号お知らせ版へのお便り

今回寄せられたのは **21** 通

内訳 / 感想 20 質問 1

レ シビのコーナーの「ごほんの卵落とし焼き」と「洋風いなり」参考になりました。全県500歳野球大会には、知人も出場しているの関心をもって読みました。

地域情報は、私にとって大切な情報源です。地域の耳より情報で見た旧池田氏私田分家庭園の野点にぜひ行ってみたいと思います。

(大曲地域 51歳女性)

東 北3大地主の池田家が私財を投じ、地域の福祉向上やインフラ整備などに尽力し、旧高梨村をユートピアにした業績の数々を「地域共栄」のタイトルでまとめた特集。秋の一般公開を控えてまさにタイムリーな素晴らしい企画でした。

洋館見学会に参加しましたが、白亜の洋館から眺める庭園は格別なもので、図書閲覧室、食堂兼音楽室の金唐革紙、風格あるシャンデリアなど、当時の繁栄がしのばれました。

(西仙北地域 75歳男性)

旧 池田氏庭園の特集がとても良かったです。ぜひ行ってみたいと思います。

(大曲地域 46歳女性)

第 48回秋田県総合防災訓練が大曲地域を会場に行われました。その中で自主防災組織というものがあるのを知りました。恥ずかしいのですが、近所の誰が組織のメンバーなのか分からないのが実状です。

防災の基本は「自助」「共助」「公助」の3つと言われているようですが、その連携プレーがうまく機能しなければ意味がありません。私自身、もっと防災について考えなければと思いました。

(大曲地域 48歳女性)

総合防災室から

市内には、現在145の自主防災組織があります。今回の秋田県総合防災訓練では、大曲地域の大花町、日の出町、蛭川地区の自主防災組織が参加しました。

市では平成20年に「安心・安全まちづくり条例」を施行。自主防災・防災組織の立ち上げを目的に「安心・安全まちづくりアカデミー」を開催しています。今年度は、大曲(角間川・藤木)・西仙北・中仙・協和地域が対象。来年1月末までの予定で行っています。詳しい日程などは、問い合わせください。

問い合わせ 総合防災室

☎0187(63)1111
内線239

毎 月楽しく読んでいます。ページ数がどんどん多くなっているような気がします。大仙市のことを知るにはこのくらいになるのでしょうか。

「命を大切に」のポスターがテイスシュ箱にも印刷されていることも紹介してくればよかったのかなと思いました。

(神岡地域 50歳女性)

突 然災害が起きたらどうしようかと常々思いますが、いざその時に自分がどんな行動をとれるのか、なかなか想像できません。「外出時に災害が起きたら家に帰れないかもしれない」「そんなことを考えると、防災グッズは絶えず携帯しないと行けないだろうなと思います。

まず始めに「自分の命は自分で守る」ということ。これができるように、自分にとって何が必要かを考えておきたいです。

(大曲地域 27歳女性)

全 県500歳野球大会に出場した選手の人たちが地元の温泉に来てくれました。若々しいみなさんと楽しい話ができいい思い出になりました。来年もぜひ会いたいです。

(西仙北地域 53歳男性)

ご みの出し方について質問があります。

新聞や段ボールをビニールひもで結ぶのは困ると言われたので紙ひもにしましたが、雨や雪が降ると切れると言われ、またビニールひもにしました。どちらが良いのでしょうか。

また、食品トレイは回収していただけますか。燃やせるごみに出すのはもったいないです。

(大曲地域 女性)

環境課から

古紙を十字に結ぶひもは、ビニール製、紙製どちらでも良いことになっています。ただし、ごみの減量化のためには、古紙としてリサイクルできる紙製のひもの方が望ましいです。

また、食品トレイは市役所各庁舎や公民館のほか、市内のスーパーなどで回収しています。今後ともごみ減量化にご協力をお願いいたします。

旧 池田氏庭園の洋館が詳しく紹介されているのを読んで、金唐革紙をぜひ見てみたいと思います。2年前の公開時は工事中だったので、見学できずのが今から楽しみです。

(大曲地域 47歳女性)

地域の耳寄り情報

園児たちが日ごろの成果を披露 大曲南・北幼稚園合同発表会

大曲南・北幼稚園の合同発表会を行います。冬の寒さに負けない、園児の元気な姿をぜひご覧ください。

◆期日/12月11日(土)

◆時間/

【大曲北幼稚園】

午前9時30分～10時20分

【大曲南幼稚園】

午前10時40分～午後0時40分

◆会場/大曲市民会館・小ホール

【問い合わせ】

大曲南幼稚園 ☎0187-62-1027

大曲北幼稚園 ☎0187-63-5118

12月26日(日)で終了します 協和青空市

昭和58年から開催してきた「協和青空市」が終了します。長い間のご愛顧に感謝し、最終日は雑煮または、おしるこのサービスを行います。

白菜、大根などの野菜や塩抜きした山菜など豊富な品ぞろえで、みなさんのお越しをお待ちしています。

◆最終営業日時/12月26日(日)

午前7時～

◆会場/市役所協和庁舎駐車場

【問い合わせ】

協和青空市運営協議会

☎018-896-2443

力作をぜひご覧ください 産業展示館各種作品展

◆期間/12月14日(火)から26日(日)まで(月曜休み)

◆時間/午前9時～午後4時

◆会場/産業展示館(大曲大町)

◆入場料/無料

◆内容/クリスマスコラボ展、小林鴻一彫刻展

【問い合わせ】

女性センター ☎0187-62-1713

市民のみなさんからご協力いただいた宮崎市佐土原地域の口蹄疫被災農家義援金。戸敷正宮崎市長からみなさんへの礼状をいただきました。ご協力いただいた義援金は被災農家に配分され、再建へ向けた取り組みを行っているとのこと。市民のみなさんの温かいご支援ありがとうございました。



地

元の子どもたちは、いつも気持ちのいいあいさつをしてくれます。おかげで一日の始まりがすがすがしいです。

県外の旅行先で散歩していたところ、通学途中の子どもたちに出会いました。横断歩道に見守り隊の方が2、3人いましたが、子どもたちはあいさつも静かなものでした。何かが足りない、寂しい感じがしました。ここにあいさつがあったら笑顔も生まれる。さわやかな一日の始まりがあるのになと感じ、あいさつの持つパワーを再認識しました。自分からあいさつができる大仙の子どもたちは輝いています！

(南外地域 57歳女性)

第

32回全県500歳野球大会の写真が載っていました。どの顔も楽しくてしょうがないといった若々しく生き生きとプレーしている様子が、会場に行かなくても本当に良く伝わってきました。

大仙の逸品を毎回楽しみにしています。市外の方への手みやげは必ず大仙市の物をとっています。ワンプアーンになりがちで困っていました。ですが、このコーナーのおかげおみやげの幅が広がり、とても助かっています。

(西仙北地域 26歳女性)

表

紙写真の消防士の方は、りりしくいい表情ですね。被写体もいいですが、カメラを構えている方の真剣さも伝わってきます。表紙がどんな写真なのか毎回とても楽しみにしています。休日返上の仕事なのでしようか。家庭持ちの方でしょうか。ご家族の理解もないと大変ですね。頑張ってくださいね。

全県500歳野球大会は毎年チーム数が多くなっているんですね。これからも少しずつ多くなり、楽しい大会になるよう期待しています。

(大曲地域 38歳女性)

(西仙北地域 63歳女性)

大

仙の逸品を毎回楽しみにしています。市外の方への手みやげは必ず大仙市の物をとっています。ワンプアーンになりがちで困っていました。ですが、このコーナーのおかげおみやげの幅が広がり、とても助かっています。

全

全県500歳野球大会は毎年チーム数が多くなっているんですね。これからも少しずつ多くなり、楽しい大会になるよう期待しています。

(大曲地域 38歳女性)

お便りお待ちしております

「お便り広場」はみなさんのページです。市政に対する質問・意見など、みなさんの遠慮のない声をお聞かせください。

あて先はこちらまで

〒014-8601 (住所不要) 大仙市企画部総合政策課

手紙・ハガキ、FAX (0187-63-1119)

またはEメール (kouhou@city.daisen.akita.jp) で送ってください。なお、Eメールの場合は件名に「お便り広場」と記入ください。



千葉大学大学院教授・野田公俊さんが特別授業 ミ クロの世界からのメッセージ

千葉大学大学院医学研究院教授の野田公俊さんが11月5日、大曲中と豊成中で特別授業を行いました。

野田さんの専門は細菌学。コレラ毒素やO-157のペロ毒素など、多くの細菌毒素を無毒化する天然物質を発見し、世界から注目されています。

講演は「ミクロの世界からのメッセージ」と題し、発酵食品に欠かせない微生物や感染症を引き起こす細菌などが私たちの生活に密接に関係していることを紹介。「みなさんの若い頭脳でノーベル賞を目指してほしい」と生徒たちを激励しました。

「知識を持っているだけでなく、知識と知識をつなげる知恵を育てることが大切」と強調する野田さん。講演後「大仙市子どもたちからは学ぼうという強いまなざしが感じられた」と感想を話した野田さん。「自分で考えることは楽しいということに気付き、これからも学ぶ意欲を伸ばしてほしい」とメッセージをいただきました。



野田さんに積極的に質問する豊成中の生徒



内 食べ物を大切にする心を育ててほしい 小友小5・6年生がジャンボのり巻きに挑戦

内小友小学校(加藤功校長・児童数84人)で11月9日、5・6年生児童(28人)とJA秋田おぼこ大曲地区女性部フレッシュ部会(佐藤敏子会長・会員16人)の会員がジャンボのり巻きづくりに挑戦しました。「自分たちは食物の命をいただいて生きていることを子どもたちに理解してほしい」と同部会が企画。食育と地域での交流を兼ねて、保護者も参加し行われました。



児童たちは会員や保護者と触れ合いながら、70枚のノリを重ねた上に具材を並べ、直径6㍍、全長12.53㍍のジャンボのり巻きを一斉に巻きました。自分たちで作ったのり巻きを試食した児童たち。出来栄えに満足の表情でした。

会員や保護者などと協力してジャンボのり巻きに挑戦

国 バイパス利用で渋滞緩和や安全性の向上 国道13号神宮寺バイパス(第2工区) 開通式

神岡地域を通る国道13号神宮寺バイパスの第2工区が完成し、開通式が11月3日に行われました。当初、神宮寺大坪の本線で開通式を行う予定でしたが、悪天候のため嶽ドームに会場を移し、地域住民や関係者など約150人が参加しました。

神宮寺バイパスは玉川橋から道の駅かみおかまでの9.6㍍。神岡地域を通過する国道13号が交通量の増加による渋滞や積雪で幅員が狭くなるなど、広域幹線道路としての機能が低下しているため、平成14年から工事に着手。19年9月には県道土川神岡線との交差点までの3.3㍍が、21年10月には神宮寺大坪までの1.7㍍が部分開通。今回国道13号までの2.2㍍が完成し、バイパス区間すべてが開通しました。今後は道の駅かみおか周辺2.4㍍までを拡幅する予定です。

式典では、地域住民を代表して黒川瞳冴さん(平和中3年)が作文を朗読。「便利で暮らしやすい環境になったことに感謝します。利用者の意識を高め、この道が大仙市の将来へとつながる道しるべとなればよいと思う」と完成を祝いました。



テープカットを行い開通を祝う地域住民と関係者



ひ孫のみなさんから贈られた花束を手に家族と記念撮影をしました。

西 長寿祝い金を贈呈 仙北の菅原忠さんが100歳に

西仙北地域土川の菅原忠さんが11月3日に満100歳の誕生日を迎えられ、菅原さんの自宅で山王丸愛子副市長から長寿祝い金の手渡されました。

昭和7年に22歳で結婚した菅原さんは、農業を営む傍ら木炭の販売仲介を行い、3男2女を育てました。

現在は、96歳になる妻マサさんと長男夫婦、孫夫婦、ひ孫3人の4世代9人家族。3カ月ほど前に足・腰を痛めてしまい、家の中で歩行訓練をしています。

高校野球を見るのが大好きという菅原さん。「ひ孫も高校野球をやっている」と顔をほころばせます。家族に見守られながら健康な生活を送り「天寿を全うするよう頑張りたい」と話してくれました。

夕 地域へ恩返しを カヤナギが市へ寄付金を贈呈

今年創業100周年を迎えた(株)タカヤナギ(高柳恭侑代表取締役社長)が市へ寄付金を贈呈しました。

11月8日、取締役副社長の高柳智史さんが栗林次美市長を訪れ「100周年を迎えることができたのは地域のおかげ。今回の寄付で地域のみなさんへ恩返しがあれば」と贈呈しました。

同社では、毎週火曜・日曜日に各店舗で売り上げ目標を設定。達成した場合は、従業員に一人100円ずつを支給しています。今回は、従業員のみなさんからの協力によりその一部を寄付金としていただきました。

高柳さんは「今回の寄付は、従業員からの地域への感謝の気持ちも込められています」と話しました。



高柳副社長から栗林次美市長へ贈呈されました。

コ 第23回大仙市大曲新人音楽祭コンクール コンクールのキャッチコピーが決定



11月9日に大曲庁舎で授賞式が行われ、星宮さん(写真左)と優秀作品に選ばれた川原藍華さん(仙北中2年・写真中央)、佐藤千波さん(大曲農業高2年)が訪問

第23回大仙市大曲新人音楽祭コンクールのキャッチコピーが、星宮夕葵さん(西仙北西中2年)の「伝えたい心 伝わる音楽」に決定しました。地域を挙げて音楽祭を盛り上げようと、市内の中学生・高校生を対象に募集。460作品の応募がありました。

「演奏する人は、自分たちの思いを伝えたいだろうし、それが音楽として伝わるから」と考えた理由を話す星宮さん。若手音楽家の登竜門とされる同コンクールは、来年1月8日・9日に大曲市民会館を会場に行われます。



大 東北大会で優秀な成績を収める 大曲小・大曲中がマーチングで全国大会へ

宮城県利府町で11月6日・7日に行われた「第39回マーチングバンド・パトントワーリング東北大会」で、大曲小学校マーチングバンド部(高橋猛顧問・部員57人)が優秀賞、大曲中学校吹奏楽部(鈴木幸栄顧問・部員97人)が金賞を受賞し、それぞれ全国大会へ推薦されました。

全国大会は12月18日・19日の2日間、埼玉県さいたま市で行われます。大会前の12月11日には大曲中学校が午後4時30分から大曲体育館で壮行演奏会を行います。また、大曲小は大会後の2月に報告会を予定しています。児童・生徒たちの演奏をぜひご覧ください。

「金賞を目指して頑張りたい」と大曲小・小西花菜さん(写真右)、「東北の代表として頑張りたい」と大曲中・藤原佳穂さん。それぞれ、大会への抱負を話してくれました。

が んの治療法は進歩しており、「がんになったら終わり」という時代ではなくなっています。

最善の治療をしても完全には治せない場合がありますが、たとえば治療が難しい状態でも、つらさを和らげ、その人らしく生きていくことを援助することは可能です。

ある調査によると多くの人が「終末期に大切にしたいこと」は、①苦痛がない②望んだ場所で過ごす③希望や楽しみがある④医師や看護師を信頼できる⑤家族の負担にならない⑥家族や友人とよい関係でいる⑦自立している⑧落ち着いた環境で過ごす⑨人として大切にされる⑩人生を全うしたと感じること―でした。これらの「大切にしたいこと」を支えていくのが緩和ケアの役割です。

緩 和ケアとは、がんなどの生命を脅かす病気にとまなつて起る体と心、生活上のさまざまなつらさを和らげ、患者さんとご家族ができるだけ自分らしい生活を取り戻すことを目標とするケアです。

緩和ケアは一般病棟や外来でも受けることができます。症状緩和の専門医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどからなる「緩和ケアチーム」が主治医や担当看護師と協力しながら緩和ケアを提



大曲仙北医師会

仙北組合総合病院
麻酔科・緩和ケアチーム

秋山 博実 科長

大仙市大曲通町 1-30
☎ 0187-63-2111

供しています。通院して緩和ケアを受けることが難しくても、自宅に居ながら、さまざまな訪問サービスを受けることが可能な場合があります。

緩和ケアを専門的に行う病棟は「緩和ケア病棟」と呼ばれています。通院や訪問サービスでつらさを和らげることが難しい患者さんが利用します。緩和ケア病棟では、静かで穏やかな環境で生活できるように工夫されています。ご家族との時間を大切にできるよう、面会、外出、外泊の制限は一般病棟に比べて緩やかです。また体調が落ち着けば退院もできます。

国 は平成19年にがん対策基本法を制定し「緩和ケアを早

期からどこにいても受けられるようにする」ことを国と都道府県の責務であるとしました。ところが、調査によると体の苦痛が少なく過ごせたがん患者さんは半数に過ぎないなど、日本の緩和ケアの現状は決して満足できる状態ではありません。

仙 北組合総合病院ではがん診療連携拠点病院として緩和ケア病棟の開設を含め、みなさんに質の高い緩和ケアを提供できるように努めています。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

このように緩和ケアはいろいろな場所で受けられるようになってきています。詳しくは主治医や病院の医療相談室へ相談ください。

その人が「大切にしたいこと」を支える
緩和ケアについて

Talk about palliative care



Medical Chart no. 42

健康の達人

Letter from Omagari-Semboku Medical Association
Master of HEALTHY

大曲仙北医師会からの便り

大曲仙北医師会ホームページ
パソコンから <http://www.omagari-med.or.jp>
携帯電話から <http://www.omagari-med.or.jp/>

健康通信

【問い合わせ】

健康増進センター ☎ 0187-62-9301

健康増進センター各分室

大曲分室 ☎ 0187-62-1015 協和分室 ☎ 018-892-2003

神岡分室 ☎ 0187-72-4606 南外分室 ☎ 0187-74-3007

西仙北分室 ☎ 0187-75-0476 仙北分室 ☎ 0187-69-3800

中仙分室 ☎ 0187-56-7211 太田分室 ☎ 0187-88-1313

受診期限は12月31日(金)

成人歯周疾患検診

歯周疾患検診の通知が届いた方で検診を受けていない方は、通知に同封の「協力歯科医療機関」に予約の上、12月31日(金)までに受診してください。

歯周疾患検診は10年に1度の大切な検診。現在の口の状態を知り歯と全身の健康を保つためにも受診をお勧めします。

◆対象／市内に住所のある40歳・50歳・60歳・70歳の方

◆検診内容／歯肉周りの状態やむし歯の有無などの検査、歯磨き指導など

◆自己負担／1,000円(検診料3,500円のうち、市から2,500円助成。また、対象により全額助成の場合あり)

◆受診期限／12月31日(金)

全身に影響を及ぼす「歯周病」

歯周病は自覚症状がほとんどなく気付かないうちに進行し、悪化すると全身に影響を及ぼします。特に喫煙者や糖尿病の方は歯周病になりやすく、治りにくいとされています。

また、歯周病の主な原因となる歯石(歯垢が唾液のカルシウム分で固まったもの)は歯磨きでは落とせず、歯ぐきに炎症を起こします。検診対象外の方も定期的に歯石を取り除くことをお勧めします。

Check!



未接種の方に追加接種を行います 二種混合予防接種

未接種児童を対象にした二種混合予防接種の追加接種を行います。三種混合の免疫を高めるための大事な予防接種です。ぜひ接種してください。

なお、接種の際は、接種を希望する医療機関に事前に予約の上、予診票を忘れずに持参ください。(予診票を紛失した方は、健康増進センター各分室で受け取ってください)

◆対象／未接種の児童(小学6年生)

◆接種実施日／12月11日(土)・18日(土)

◆接種費用／無料

実施協力医療機関

医療機関(地域)	電話番号	診療時間
小山田医院(大曲)	☎ 0187-63-1133	8:30 ~ 12:00
吉村クリニック(大曲)	☎ 0187-86-0566	8:00 ~ 14:30
生和堂医院(西仙北)	☎ 0187-75-0318	8:45 ~ 12:00
豊島医院(協和)	☎ 018-892-2211	8:30 ~ 12:30 ※水曜日の予約は17:00まで
柳田医院(仙北)	☎ 0187-69-2101	8:00 ~ 11:00 13:30 ~ 15:00

※各医療機関とも事前に電話予約が必要です。



市への申請は必要ありません インフルエンザ予防接種の助成

市からのインフルエンザ予防接種助成金(1,200円)は、1歳から18歳までの方と65歳以上の方を対象に助成しています。

インフルエンザワクチン接種受託医療機関で接種した際に、接種料金から市の助成金を差し引いた金額を医療機関の窓口で支払うこととなりますので、市への申請は必要ありません。



忘れずに接種を ポリオ集団接種日程

体調不良などで接種できない方や前回まで未接種の方は、お住まいの健康増進センター各分室(保健センター)へ連絡ください。

接種日程

地域(会場)	対象	接種日	受け付け時間
大曲(大曲保健センター)	①平成22年3月生 ②平成21年9月生	12月3日(金)	12:45 ~ 13:15
中仙・仙北・太田(仙北保健センター)		12月15日(水)	13:20 ~ 13:50
神岡・南外・西仙北・協和(西仙北総合支所)	①平成22年3~5月 ②平成21年9・10月生	12月21日(火)	13:00 ~ 13:15

※対象の①は接種1回目、②は接種2回目

●南外図書館のおすすめ

安心したがる人々

(南外・大曲図書館所蔵あり)

曾野綾子／著 (小学館)



南外図書館からのお勧めは、幸せを求め続ける私たちが、実に、いかに幸せなのかを考えさせられる内容です。48編からなるこの本は、1編が5～6ページ程なので気になるタイトルの部分だけ読んでも十分楽しめる1冊です。

ケーキの作り方やサンタクロースの絵本などクリスマスに読みたい本は、みなさんさまざまだと思いますが、今年は世界の平和・幸せについて考えてみてはいかがでしょうか。

新着図書

ここで紹介する以外にもたくさんの本が入っています。希望する本がなかった場合は、図書館職員へ声を掛けてください。市内の各図書館のほか、県立図書館からも取り寄せます。

小説・一般向け図書

- うわさのようちえん／きたやまようこ
- タブスおばあさんと三匹のおはなし／ヒュー・ロフティング
- かぜがふいてきた：／いとようこ
- おかのうえのギリス／ロバート・ローソン
- 十二支のしりとりにえほん／高畠純
- よくぞこぶしで／ルドウィッヒ・ペーメルマン
- アマンダとくまの子／ターシャ・テューダー
- 鋼鉄の叫び／鈴木光司
- ツナグ／辻村深月
- 還暦探偵／藤田宜永
- ぎつちんちゃん／群ようこ
- 沈黙の檻／堂場瞬一
- 稲穂の海／熊谷達也
- タイニーストーリーズ／山田詠美
- 蜜姫村／乾ルカ
- 親鸞と道元／五木寛之
- 御師弥五郎／西條奈加
- 木暮荘物語／三浦しをん
- 再びの海／澤田ふじ子
- ラフソディ・イン・ラブ／小路幸也

幼児・児童向け図書

- うわさのようちえん／きたやまようこ
- タブスおばあさんと三匹のおはなし／ヒュー・ロフティング
- かぜがふいてきた：／いとようこ
- おかのうえのギリス／ロバート・ローソン
- 十二支のしりとりにえほん／高畠純
- よくぞこぶしで／ルドウィッヒ・ペーメルマン
- アマンダとくまの子／ターシャ・テューダー



■各図書館イベント／

【クリスマスおはなし会】

協和 12月11日(土) 午前9時30分～

大曲 12月11日(土) 午後2時～

【おはなし会】

仙北 12月11日・25日(土) 午前10時30分～

神岡 12月18日(土) 午前11時～

西仙北 12月25日(土) 午前10時～11時

【どんぐり文庫 おはなし会】(おはなしのほかにもむかしの遊びもあります)

太田(敬愛館) 12月19日(日) 午前9時30分～11時30分

■企画展「見に来てたんせ おらほの学校」大曲養護出張学校展

期間／12月2日から23日まで

時間／午前9時～午後7時

会場／大曲図書館

■各図書館休館日／【12月】▼1日=大曲、神岡、西仙北、南外、太田▼1日

から3日まで=協和(資料整理期間のため)▼13日から15日まで=仙北(資料整理期間のため)▼6日=中仙、仙北【1月】▼31日=協和【12月29日～1月4日】

年末年始のため全館休館

各図書館問い合わせ

大曲図書館 ☎ 0187-62-1012	南外図書館 ☎ 0187-74-2130
神岡図書館 ☎ 0187-72-2501	仙北図書館 ☎ 0187-69-3334
西仙北図書館 ☎ 0187-75-0099	太田図書館 ☎ 0187-88-1119
協和図書館 ☎ 018-892-3830	中仙図書館 ☎ 0187-56-7200

12月の市長日程

※日程は変更になる場合があります。

2日・木	第3回大仙農業元気表彰式
3日・金	定例記者会見
6日・月	第4回市議会定例会(初日)
8日・水	大仙市民生委員・児童委員委嘱状伝達式 大仙雪まる隊出動式
10日・金	全国花火競技大会大会委員会
14日・火	第4回市議会定例会(第2日目)
15日・水	第4回市議会定例会(第3日目)
17日・金	花館財産区議会定例会
22日・水	第4回市議会定例会(第4日目)
24日・金	大仙美郷介護福祉組合議会定例会
28日・火	仕事納めの式

市長交際費

(10月1日～31日)

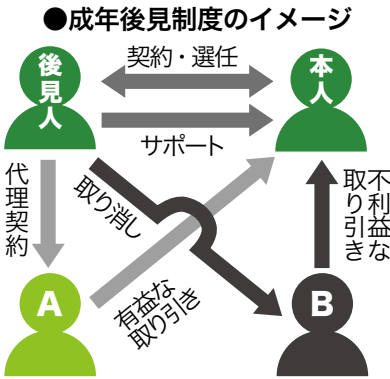
摘要	件数	金額
弔慰	5	70,000円
慶祝	26	131,322円
協賛	9	73,340円
合計	40	274,662円



1 萬桜育友会のサクラ植樹に参加、同会会長の小松忠二さんと記念撮影する栗林次美市長

2 豊岡小学校創立130周年記念式典であいさつする栗林次美市長

3 大曲都市計画案住民説明会であいさつする栗林次美市長



判断能力が不十分と認められる高齢者や知的・精神障がいがある方などが、自分に代わって契約や金銭管理などを行ってもらう制度が「成年後見制度」です。大きくは、家庭裁判所に申し立てを行う「法定後見制度」と自分で将来に備え成年後見人を決めておく「任意後見制度」の2つの制度があります。

2つの制度 成年後見制度とは

「実家にすむ両親が高齢で認知症もすすんできたみたいだ。高価な布団を買わされそうになった…。今後もこのようなことが起きそうで心配だ」

このように、消費者被害に遭いそうになったり、振り込め詐欺に引っかけたりそうになったりしたことがありますか？
こういった場合、成年後見制度を上手に利用することによって被害を防ぐことができます。

任意後見制度

判断能力が不十分になる前に…

今は元気だけれど将来が心配。もしも判断能力が不十分になったら支援してくれる人がほしい。そんなとき、支援してくれる人と将来の約束をし、支援内容を決め、あらかじめ本人と支援者の間で任意に契約を行う制度です。契約は公証人役場で公正証書を作成しておこないます。

法定後見制度

判断能力が不十分になってから…

本人または親族が家庭裁判所に申し立てを行います。審判の結果、成年後見人などが選ばれて、契約や金銭管理を任せたりすることができます。申し立ては本人の住所地を管轄する家庭裁判所にします。



成年後見制度の詳細は各地域包括支援センターまで問い合わせください。

中央 (大曲庁舎/大曲・四ツ屋・花館地区)
☎ 0187-63-1111 内線 169

東部 (中仙庁舎/中仙・仙北・太田)
☎ 0187-56-7125

西部 (西仙北庁舎/神岡・西仙北・南外)
☎ 0187-87-3970

協和 (社会福祉協議会協和支所/協和)
☎ 018-892-3838

南部 (社会福祉協議会本所/大曲・内小友・西根・藤木・角間川地区)
☎ 0187-88-8030

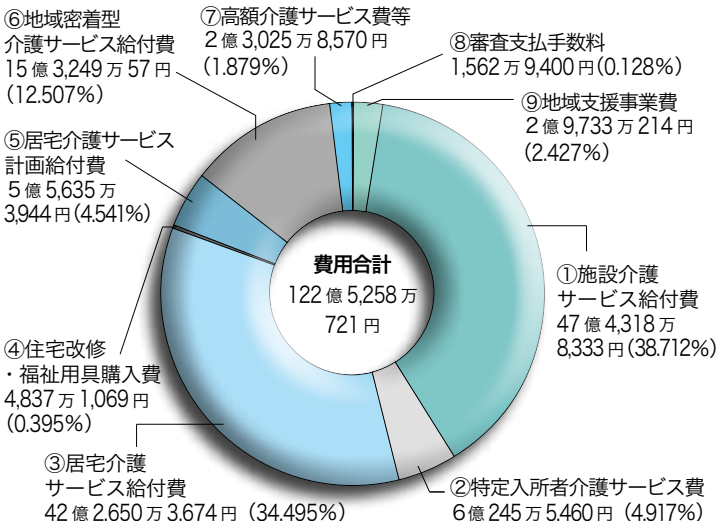
介護保険事務所からのお知らせ

介護保険料はこのように利用されています

【問い合わせ】介護保険事務所企画管理班 ☎0187-86-3910

40歳以上の方々から納めていただいている介護保険料は介護保険サービスの費用(グラフ・表参照)に使われています。また、同サービス費用は約50%を介護保険料で(65歳以上の方が約20%、40歳～64歳の方が約30%)、残りは税金でまかなっています。

平成21年度介護保険料の内訳



グラフの内訳

項目	内容
①施設介護サービス給付費	特別養護老人ホーム等の施設サービス利用にかかる費用
②特定入所者介護サービス費	施設介護サービス等利用時の食費・居住費への助成費用
③居室介護サービス給付費	ホームヘルプ・デイ・ショートステイサービス等の利用にかかる費用
④住宅改修・福祉用具購入費	自宅への手すりの取付け工事等や腰掛便座等を購入した際の助成費用
⑤居室介護サービス計画給付費	居室介護サービス利用計画作成にかかる費用
⑥地域密着型介護サービス給付費	グループホーム等のサービス利用にかかる費用
⑦高額介護サービス費	1カ月のサービス費用の自己負担分が高額になった利用者への助成費用
⑧審査支払手数料	介護保険サービス事業所がサービスにかかる費用を請求した際の審査手数料
⑨地域支援事業費	介護予防事業や介護している家族に対する支援事業等にかかる費用

※グラフの金額は大仙市、仙北市、美郷町の3市町分の介護サービス・介護予防サービス費の合計です。

紛争などで苦しむ方々を救済 NHK 海外たすけあいキャンペーン

紛争や災害、飢餓などで苦しむ方々へあたたかい手を差しのべる「NHK海外たすけあい」キャンペーン。12月25日(土)まで実施しています。

みなさんからの義援金の協力をお願いします。

◆受け付け窓口／郵便局・銀行・農協、日本赤十字社秋田県支部、秋田赤十字病院、秋田県赤十字血液センター、アトリオン献血ルーム、献血ステーション、秋田赤十字乳児院、日本赤十字秋田看護大学(各窓口に振込用紙を用意してあります。振込手数料は無料)

【問い合わせ】

日本赤十字社秋田県支部
☎018-864-2731

Events イベント

講座作品展示・発表会 ペアーレ大仙フェア 2010

ペアーレ大仙で行われている各講座の作品展示・発表会を行います。

【作品展示会】

日時／12月3日(金)正午～午後4時、
12月4日(土)・5日(日)午前10時～午後4時

会場／大曲交流センター

【舞台発表】

日時／12月5日(日)
午前10時～午後3時

会場／大曲市民会館・大ホール

◆入場料／無料

【問い合わせ】

ペアーレ大仙 ☎0187-63-8600

第35回大曲工業高校吹奏楽部 定期演奏会

◆日時／12月4日(土)午後6時～
(午後5時30分開場)

◆会場／仙北ふれあい文化センター

◆入場料／300円

【問い合わせ】

大曲工業高校吹奏楽部 由利さん
☎0187-63-4060

スキーゲノス大曲クラブ ジュニアスキースクール

◆対象／小学生

◆期日／1月9日から2月27日までの毎週日曜日(全8回)

◆時間／午前9時30分～午後3時

◆会場／大曲ファミリースキー場

◆定員／先着50人※定員になり次第、締め切ります。

◆参加費／8,000円(別途保険料、リフト代)

【問い合わせ・申し込み】

スキーゲノス大曲クラブ
三浦さん ☎0187-62-2127

お知らせ Information

若者の就職を応援 サポートステーションあきた

さまざまな支援プログラムの活動などを通じて技術の向上などを図り、若者の県内の就職を支援しています。支援は無料。ぜひ利用ください。

◆対象／15歳から39歳までの方

◆営業時間／平日の午前9時～午後4時

【問い合わせ】

サポートステーションあきた
(秋田テルサ3階フレッシュワークAKITA内)
フリーダイヤル ☎0120-001-683

冬期間の踏切は特に危険です 踏切事故に注意

冬期間は、車の窓を開ける機会が少ないため警報機の音に気付かず踏切に進入したり、凍結によりスリップし、踏切上で脱輪したりすることが考えられます。踏切前は一旦停止し、安全を確認してから横断しましょう。

【問い合わせ】

秋田信号通信
指令室
フリーダイヤル
☎0120-401-625

冬期間の踏切事故を防ぎましょう。



Course 講習

「数学の伝道師」がやってくる 夢講座! 秋山仁さん in 大曲小学校

「不可能を可能に、無から有を創り出す挑戦の日々」をモットーに活動する数学家の秋山仁さんが「数学一直線」をテーマに講演します。※入場無料

◆日時／12月7日(火)

午後2時10分～3時50分

◆会場／大曲小学校体育館

◆申込期限／12月6日(月)

【問い合わせ・申し込み】

大曲小学校PTA
事務局(大曲小内)
☎0187-63-1018



教訓を秘めた独自の人生観をもつ、数学家の秋山さん。

体も心もリラックス 健康づくり気功教室

◆対象／一般の方(高校生以下不可)

◆日時／毎週水曜日の午前10時～正午

◆会場／中仙市民会館(ドンパル)

◆参加費／月3,000円(体験は無料)

【問い合わせ】

荒木田知子さん ☎080-1829-0129

Sports スポーツ

大曲スキースポーツ少年団 団員募集

◆対象／大曲地域の小学生

◆期日／12月23日(木)、1月9日から2月27日までの毎週日曜日(全9回)

◆時間／午前9時～正午

◆会場／大曲ファミリースキー場

◆定員／先着50人※定員になり次第、締め切ります。

◆参加費／7,000円

◆申込期限／12月16日(木)

【問い合わせ・申し込み】

大曲スキースポーツ少年団
高橋さん ☎0187-62-4985

12月の子育てイベント情報



未就園の子どもを対象にした、各地域子育て支援センターでのイベントをお知らせします。

【問い合わせ】各地域子育て支援センター

大曲 ☎0187-62-5733 協和 ☎018-892-3426
 神岡 ☎0187-72-2244 南外 ☎0187-73-1088
 西仙北 ☎0187-87-7130 仙北 ☎0187-63-1143
 中仙 ☎0187-56-4139 太田 ☎0187-86-9110

地域	月日	開催場所	事業名	申込期限
大曲	2日(木) 10:00~	サンクエスト	みんなであそぼう	なし
	9日(木) 10:00~	大曲交流センター	おかあさんとボールであそぼう	7日(火)
	16日(木) 10:00~	サンクエスト	サンタさんきてね	14日(火)
神岡	14日(火) 9:30~	すくすくだけっこ園	おひさまひろば	13日(月)
西仙北	8日(水) 9:30~	みつば保育園	作って遊ぼう(ゆらゆらサンタ)	なし
	22日(水) 9:30~		クリスマス会に参加しよう	
中仙	14日(火) 9:30~	なかせんファイワイランド	わんぱく広場	なし
協和	24日(金) 10:00~	協和保育園	園児と一緒にクリスマス会	21日(火)
南外	3日(金) 9:30~	南外保育園	0歳児栄養指導	なし
	17日(金) 9:30~		みんなであそぼ	
仙北	8日(水) 9:30~	仙北南保育園	楽しみだね!クリスマス(0・1歳)	7日(火)
	15日(水) 9:30~		楽しみだね!クリスマス(2歳)	14日(火)
	22日(水) 9:30~		楽しみだね!クリスマス(0~2歳)	14日(火)
太田	22日(水) 9:30~	おおた保育園	みんなで遊ぼう	20日(月)

※申し込み状況で、申込期限前に締め切ることがあります。

12月のまるこのひろば

都市再生住宅1階の子育て支援拠点施設と高齢者生活相談所で各種イベントを行います。

【問い合わせ】まるこのひろば

高齢者=☎0187-63-2544 子育て=☎0187-63-2344

日時	子育て支援拠点施設	高齢者生活相談所
16日(木) 10:30~	いっしょに遊ぼう(親子で交流を)	【随時】 高齢者の生活相談
18日(土) 13:30~	「みんなで歌おう!」の集い(大きな声で、みんなスッキリ)	
21日(火) 10:30~	クリスマスお楽しみ会(夢を膨らませて) ※12月14日(火)まで申し込み	
24日(金) 10:00~	「ミニツリーと門松をつくらう」(夢を大きくえがきながら)	
27日(月) 10:30~	誕生会(12月生まれの子)	【随時】 高齢者の生活相談
親子相談会	14日(火) 10:00~15:00	【問い合わせ・申し込み】 福原さん☎0187-73-7812

※体操教室…毎週月曜日(祝日を除く)

①午前10時~②午後1時30分~

12月1日水 ~20日月

- 大仙市地域交流センターはびねす大仙利用開始
 ■午前9時~■はびねす大仙(大仙市幸町2-70)
- 12/1 水 しあわせ公園の利用開始 ▶P6
 市街地再開発事業等の都市計画案縦覧(~7日)
 ■午前8時30分~■市役所大曲南庁舎 ▶P4
- 大仙市民大学教養講座(第2回目・要申し込み)
 ■午後6時30分~■大曲地域職業訓練センター
- 2 木 教養講座講演内容の変更
 秋田大学大学院医学系研究科・准教授の鈴木圭子さんによる「心身の健康を支える生活習慣」を予定していましたが、秋田大学企画広報課・課長の高橋康弘さんによる「自殺の周辺」~取材から10年!生きることを考えた秋田で再び~に変更になりました。たくさんの聴講をお待ちしています。
- 3 金 人権・行政に関する相談
 ■午前10時~■中仙農村環境改善センター
- 4 土 人権・行政に関する相談
 ■午前10時~■神岡福祉センター、西仙北中央公民館
- 大仙美郷クリーンセンター休日開場日
 ■午前8時30分~、午後1時~
 ■【家庭系ごみ】65円/10kg【事業系ごみ】110円/10kg
- 5 日 呈茶会(裏千家流・藤田宗律社中)
 ■午前10時~■産業展示館(300円)
 ☎大曲中通病院(大曲)☎0187-63-2131
 ☎嶋村歯科クリニック(大曲)☎0187-62-0410
 ☎仙北組合総合病院(大曲)☎0187-63-2111
- 6 月 人権・行政に関する相談
 ■午前10時~■ペアーレ大仙、仙北就業改善センター
- 7 火 人権・行政に関する相談■午前10時~■太田文化プラザ
 ペアーレ大仙キッチンスタジオ開設記念料理教室(要申し込み)■午後1時30分~■ペアーレ大仙▶P7
- 8 水 仙北行政相談■午後1時30分~■紫陽花館
- 9 木 人権・行政に関する相談
 ■午前10時~■南外公民館、協和市民センター(和ピア)
- 10 金 女性フォーラム■午後1時30分~■女性センター▶P6
- 11 土 因幡晃アコースティックコンサート
 ■午後6時開場■中仙市民会館ドンパル(3,500円~)▶P6
- 12 日 ☎仙北組合総合病院・外科(大曲)☎0187-63-2111
 ☎田口歯科クリニック(仙北市)☎0187-53-2212
 ☎仙北組合総合病院(大曲)☎0187-63-2111
- 13 月 あきたふるさと手作りCM大賞放送日(予定)
 ■午後6時56分~▶P7
- 14 火
- 15 水
- 16 木
- 17 金
- 18 土 西仙北行政相談■午前10時~■高齢者ふれあいセンター
- 19 日 ☎仙北組合総合病院・整形(大曲)☎0187-63-2111
 ☎角間川歯科医院(大曲)☎0187-65-3536
 ☎仙北組合総合病院(大曲)☎0187-63-2111
- 協和行政相談■午前9時~■淀川分館
 太田行政相談■午前9時~■太田総合支所相談室
 大曲行政相談■午前10時~■大曲庁舎市民ホール
 南外北行政相談■午前10時~■南外コミュニティセンター
 協和行政相談■午後1時~■協和市民センター(和ピア)
- 20 月 ☎…休日外科当番医 ☎…休日歯科当番医 ☎…小児救急診療
 午前10時~午後4時 午前9時~午後1時 午前9時~午後3時

休日救急医療(仙北組合総合病院内) ※日曜日・祝日・年末年始
 ☎0187-63-2111 ■内科・小児科 ■午前9時~午後3時



フォトスケッチ

錦秋の旧池田氏庭園



11月6日・7日の2日間、特別公開された高梨の本家庭園。今回は10月に修復工事が終了した洋館の一部が公開されたこともあり、2日間で約6000人が訪れました。訪れた方々はボランティアガイドの案内を受けながら、庭園内の紅葉や国内最大級の雪見灯籠、金唐草紙で飾られた洋館一階の食堂兼音楽室やピリヤード室を見学しました。

また、今回の特別公開には地元仙北中2・3年生有志がボランティアとして参加。正門前の受け付けやガイド、洋館内の係員を分担して行いました。

常時公開されている払田の分家庭園には、紅葉期間中、たくさんの写真愛好家や紅葉を楽しむ見学者が訪れました。

本家庭園の特別公開日には、地元の茶道グループが分家庭園で野点のたぎ（お茶席）を企画し、見学に訪れた方々をおもてなし。庭園を包む一面の紅葉を眺めながら、振る舞われた抹茶でゆつくりとしたひと時を過ごしました。



①中学生ボランティアもガイドに挑戦。地域の文化遺産に触れ、それを伝えようと参加した生徒は「いろいろな人と話ができ楽しい」などと感想を話していました。
 ②分家庭園で行われた野点（お茶席）。抹茶を飲みながら、一面が秋の色に染まる庭園の景色を楽しみました。





「カレー風味カボチャまん」

1人分(2個) …エネルギー 230kcal、塩分 0.3g

材料(10人分)

カボチャ……………小1個
 パン粉……………200g
 A カレー粉……………大さじ2
 牛乳……………400ml

【鶏そぼろ】

鶏ひき肉……………150g
 ニンジン……………少々
 ピーマン……………2個
 タマネギ……………中1個
 卵……………1個
 B 砂糖……………大さじ1
 酒……………大さじ1
 味噌……………大さじ1
 ショウガ汁……………大さじ1
 油……………適量

作り方

- ① カボチャを大きめの乱切りにして皮をむき、蒸してつぶす。
- ② Aをよく練り込むように混ぜる。
- ③【鶏そぼろを作る】
ボウルに鶏ひき肉、みじん切りにしたニンジン、ピーマン、タマネギと卵、Bの調味料を入れて混ぜ、油をひいたフライパンで炒める。
- ⑤ ①と③をよく混ぜ、20等分しておく。
- ⑥ 20等分四方に広げたラップの上に②を大さじ1程度伸ばして広げ、その上に⑤を乗せて巾着包みにする。
- ⑦ ⑥に爪楊枝で1カ所穴をあけ、蒸し器で3分ほど蒸す。(600Wレンジの場合は2分)

健康はバランスよい食事から
 ヘルスメイトさんのレシピ

◆ヘルスメイトさんからの「ひと口メモ」

モチモチした食感が特徴。中の具材を代えることでいろいろな風味を楽しめます。
 子どもと一緒に楽しく作れるので食育にも最適。
 カレー風味なので野菜が苦手な子どもでもおいしく食べられます。おやつとしても、ぜひどうぞ…。

食生活改善推進協議会
 南外支部
 伊藤 賢子さん



大仙の逸品

読者

プレゼント

締め切り日 12月31日(消印有効)

— お便り送って商品ゲット —

花火のベストセレクションをカレンダーに

花火カレンダー2011「銘華競演」と「日本の花火」

カ ネットクさんのロングラン商品。「花火カレンダー2011」(1,575円)の銘華競演と日本の花火をそれぞれ3人の方にプレゼントします。花火ファンのみならずいろいろな人に愛され支持される商品として、今年で19年を迎える逸品です。

カレンダーに使用されている写真は日本を代表する花火写真家、後藤芳次さん(大曲)の作品。後藤さんは平成2年の郵政省のふるさと切手に採用された、第62回の大会提供「ガンバレニッポン五色の華に乾杯」を撮影した写真家として有名です。

カレンダーには今年撮影した作品から、季節や芸術性、記録性、話題性などを加味してセレクション。さらに高精細印刷することで、繊細な光の軌跡をも忠実に再現。「美しい花火写真」としても楽しめます。

「毎年完売となりますが、増刷はしないので、興味のある方は、お早めに申し込んでほしい。送料別途で全国発送も承ります」と話します。

大判A2判(縦60×横42)各枚数7枚。高級アート紙、表紙エスプリコート紙使用。お気に入りの場所にかけて、毎日花火を楽しんでみてはいかがでしょうか。



カレンダーとしてだけでなく、花火写真として芸術性の高い商品

【問い合わせ】

カネット卸総合センター(株)
 ハナビライブラリー事業部
 大曲浜町1-22
 ☎ 0187-62-1704

応募方法

発行号、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号と必ず広報紙の感想などを記入の上、プレゼント係までお送りください。
 応募者多数の場合は抽選を行います。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。発送は来年1月になりますので、ご了承ください。

あて先

〒014-8601 (住所不要) だいせん日和プレゼント係
 ファクス / 0187-63-1119
 Eメール / kouhou@city.daisen.akita.jp
 ※Eメールの場合は件名に「読者プレゼント」と記入ください。

昭和57年~昭和59年製の
トヨタ石油ファンヒーターを探しています

対象
機種

LCR-3・LCR-3-1
LS-3・LS-3-1・LS-6

LCR-3タイプ



型番表示部

LS系タイプ



ご連絡先

〒467-0855 名古屋市瑞穂区桃園町5番17号

株式会社トヨタ
フリーダイヤル

0120-104-154

(お客様よりお知らせ頂きました個人情報、商品の交換目的以外には使用いたしません)

現在の石油ファンヒーターはPSCで定められた安全装置が全機種についております

インプラント治療 無料相談
ホワイトニングも
行っております。

※一部自由診療につきましては、患者様の全額自己負担となります。

みちのく政宗 デンタルクリニック

歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科

～医院方針～
歯を削らない痛くない治療
抜かずに歯を残していく治療

※治療方針であり、あくまでも
お約束するものではありません。

看護師・食育カウンセラーが常駐!
受診中の授乳・託児ルーム完備!

診察時間	月～金	午前9:00～13:00	午後3:00～7:00
	土	午前9:00～13:00	午後3:00～6:00
	日		午後1:00～5:00

●休診日/祝祭日 ●日曜日の診療は午後からです。

医療法人 鳳珠会
みちのく政宗デンタルクリニック
院長 正井 佑典

〒014-0021 秋田県大仙市福田町22-23-7
大曲駅東口 マックスバリュ敷地内
E-mail info@michinoku-masamune.com

お問い合わせ
ご予約は ☎0187-63-7803

ホームページ 当院の診療内容が詳しくわかります!
URL/ <http://www.michinoku-masamune.com>

「広報だいせん」に広告を掲載してみませんか?

広告掲載に関するお問合せは...

冬休み 短期 集中指導

小学校受験から
大学受験まで
全学年対象

スーパー家庭教師® が苦手科目を徹底攻略

(スーパー家庭教師は当社の登録商標です)

6回コース 8回コース 10回コース 12回コース 14回コース ... 先着予約制

教科: 何教科でも希望に応じます	期間: 冬休み中の期間は日数・回数
テキスト: 教科書、お持ちのテキストを使用	組み合わせ自由
場所: ご家庭に教師派遣(事務局指導も可)	時間: 1日2時間・2時間30分・3時間指導など
対象: 小学生・中学生・高校生の全学年	自分のペースに合わせて選べます

弱点分野克服

- 冬休み明けテストで+50点とりたい
- 苦手の数学に強くなりたい

3学期予習

- 学年末テストに備えてしっかり勉強
- 3学期重要テーマを先取りしたい

入試直前対策

- センター試験のコツを教えてください
- 面接の練習をしてほしい

5教科レベルアップ

- とにかくこの冬は1日10時間勉強するぞ
- 全教科80点以上とりたい

...各対策・指導内容は50通り以上で複数選択可能



当社TVCMでおなじみの立川志の輔

信頼のブランドスーパー家庭教師 全国160都市で地域教育に貢献 派遣実績31年

秋田県家庭教師協会

お問い合わせは 二重丸で オールナンバードン
0120-00-1111

このフリーダイヤルは通話料がかかりますが、携帯電話からご利用いただけますのでお電話でもご利用ください

スーパー家庭教師

■大曲事務局 ☎ 0187-63-3388(代)
大仙市大曲中通町3-13 マルタツビル2F

■横手事務局 ☎ 0182-36-7755(代)
横手市前郷一番町13-20 サンユールビル2F

■秋田 ■能代 ■本荘 ■大館

KATEKYO学院

お問い合わせは なせばなる 合格のゴール
0120-77-5555

このフリーダイヤルは通話料がかかりますが、携帯電話からご利用いただけますのでお電話でもご利用ください

KATEKYO学院

■大曲駅前校 ☎ 0187-63-9955(代)
大仙市大曲中通町3-13 マルタツビル2F

総合広告代理店
株式会社 アド・スタッフ
大仙市戸時天合地中16-13
TEL 0187-(63)4026
FAX 0187-(63)5231

第23回 大仙市大曲新人音楽祭コンクール

伝えたい心 伝わる音楽

キャッチコピー／西仙北西中学校2年 星宮夕葵さん



予選

平成 23 年
1月8日(土)

- ピアノ部門
時間／正午～
会場／大曲市民会館大ホール
- 弦・管・打楽器部門
時間／正午～
会場／大曲市民会館小ホール
- 声楽部門
時間／午後4時～
会場／大曲市民会館大ホール

本選

平成 23 年
1月9日(日)

- 全部門
時間／午後0時30分～
会場／大曲市民会館大ホール
- 特別主演
第22回大仙市
大曲新人音楽祭コンクール
グランプリ受賞者
〈フルート〉白戸美帆さん

入場料

一般 500 円、学生(高校生以下) 300 円(全席自由両日券)

大曲華道会による作品展示もあります。
無料託児サービス(満1歳から未就学児までの子ども)12月22日(水)まで要予約

【問い合わせ】 大曲市民会館 ☎ 0187-63-8766 (月曜日休館)

プレイガイド

大曲市民会館／中仙市民会館(ドンバル)／協和市民センター(和ピアノ)／仙北ふれあい文化センター
榊田楽器店／タカヤナギイーストモール／美音社本店



人口と世帯数

※()内は前月比



10/31現在

人口	90,874人	(- 75)
男	42,815人	(- 41)
女	48,059人	(- 34)
世帯数	30,816世帯	(- 7)

人口増減内訳

出生	40人
死亡	115人
転入	117人
転出	117人

- 編集発行 秋田県大仙市企画部総合政策課 ☎ 0187(63)1111(代表)
〒014-8601 秋田県大仙市大曲花園町1番1号
- 発行日 毎月2回(1日・16日)
- 印刷 株式会社 仙北印刷所

担当者コラム

今日も“だいせん日和”

▼3年前に亡くなった祖母は、大曲の花火が好きだった。第81回大会が自分の目で見たい、祖母にとって最後の「大曲の花火」。あの時の祖母の笑顔が今でも忘れられない▼「何さでも挑戦せ」これは生前の祖母の言葉。大会提供が始まる直前、頭をよぎった。広報担当となった今年、初めて「大曲の花火」を撮った。「100年」という節目の大会を撮れるのは光栄であり、また、プレッシャーでもあった。正直、不安で仕方なかった。そんな自分にとって今年の大会はまさに「挑戦」。祖母の言葉を思い出し、一心不乱にシャッターを切った。体に伝わる音と衝撃。胸を打つ感動。思い出した笑顔と言葉。そのすべてが交差し、自然と涙が出た▼新たな100年の始まりを迎えた大曲の花火。みなさんにも感動が伝わり、記憶に残るような写真を撮って紹介したい。自分にとって、また新たな「挑戦」が始まった。(け)